

受付

種目番号

連絡先

委託担当

総務課施設担当 担当者名 石田 年弘 Tel 787-8926

## 設 計 書

1 委託名称 総合研究教育棟データサイエンス学部その他改修工事(建築工事)に伴う基本・実施設計業務委託

2 履行場所 金沢区瀬戸22番2号 金沢八景キャンパス

3 履行期間  期間  
又は期限  期限 令和9年3月31日

4 契約区分  確定契約  概算契約

5 その他特約事項 なし

6 現場説明  不要  
 要 ( 月 日 時 分 場所 )

7 委託概要 横浜市立大学金沢八景キャンパスのデータサイエンス学部定員増に伴い、総合研究教育棟2階の改修工事の基本・実施設計を行います。  
また、データサイエンス学部での活用を目的とした、文科系研究棟1階書庫改修の検討(基本設計)を合わせて行います。

8 部分払い  する( 回以内)  しない

9 その他 『労務単価、技術者単価(令和7年3月改訂)』適用  
『横浜市公共建築物の設計業務等積算基準・要領(令和7年1月版)』適用

委託代金額 ￥

内訳 委託価格 ￥

消費税相当額 ￥

総合研究教育棟データサイエンス学部その他改修工事(建築工事)に伴う基本・実施設計業務委託

項目	単位	数量	単価	金額	摘要
I 直接人件費					
一般業務	式	1			
追加業務	式	1			
計					
II 諸経費					
諸経費	式	1			
計					
III 技術料等経費					
技術料等経費	式	1			
計					
IV 特別経費					
アスベスト含有分析調査(4検体)	式	1			
計					
合計					
消費税等相当額					
総計					

公立大学法人横浜市立大学

# 横浜市立大学 建築設計委託業務特記仕様書

(※の項目については■の項目のみを適用します。)

- |                      |                                                                                                          |
|----------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 委託業務名              | 総合研究教育棟データサイエンス学部その他改修工事（建築工事）に伴う基本・実施設計業務委託                                                             |
| 2 施設概要               |                                                                                                          |
| (1) 施設名称             | 横浜市立大学金沢八景キャンパス内 総合研究教育棟・文科系研究棟                                                                          |
| (2) 敷地場所             | 横浜市 金沢 区 瀬戸22番2号 八景キャンパス内                                                                                |
| (3) 施設用途             | 主要用途 大学<br>附属棟用途                                                                                         |
| 3 委託業務の内容            | 本委託業務の内容は、次のとおりとします。                                                                                     |
| (1) 業務の範囲※           | ■ 基本設計      ■ 実施設計      (その他)<br>詳細は別紙1によります。                                                            |
| (2) 設計と条件            | 別紙1によります。                                                                                                |
| (3) 適用基準等            | 別紙2によります。                                                                                                |
| (4) 貸与品等             | 別紙2によります。                                                                                                |
| (5) 関連工事             | 設計に調整を要する別途工事      があります。<br>ある場合の工事名称 総合研究教育棟データサイエンス学部その他改修工事（電気・機械設備工事）                               |
| 4 成果物                |                                                                                                          |
| (1) 仕様・部数等           | 別紙3によります。                                                                                                |
| (2) 提出期限             | 別紙3によります。                                                                                                |
| (3) 提出場所※            | 総務部総務課施設担当の各担当に提出してください。<br>■ 建築担当      □ 電気担当      □ 機械担当                                               |
| 5 工程表の提出             | 委託契約約款第2条第2項に規定する工程表は、監督員と協議のうえ作成し、提出してください。                                                             |
| 6 PUBDISへの登録         | 公共建築設計者情報システム（PUBDIS）への登録は不要とします。                                                                        |
| 7 技術者の資格要件           | 各工種の担当技術者の要件は、本委託業務の遂行に必要な十分な能力を有することはもちろんのこと、次のとおりとします。                                                 |
| (1) 担当技術者※<br>(意匠)   | ■ 意匠設計について高度な技術及び能力を持っている。                                                                               |
| (2) 担当技術者※<br>(構造)   | ■ 一級建築士を有する。      (      □ 免許取得後5年以上の経験を有する。)<br>□ 構造設計について高度な技術及び能力を持っている。                              |
| (3) 担当技術者※<br>(電気設備) | □ 一級建築士を有する。      (      □ 構造設計一級建築士を有する。)<br>□ 電気設備設計について高度な技術及び能力を持っている。                               |
| (4) 担当技術者※<br>(機械設備) | □ 建築設備士を有する。      □ 設備設計一級建築士を有する。<br>□ 機械設備設計について高度な技術及び能力を持っている。<br>□ 建築設備士を有する。      □ 設備設計一級建築士を有する。 |
| 8 工種間の調整             | 意匠、構造、電気・機械設備（別途委託）の各担当技術者間の調整を十分に行い、各工事の設計図書の整合を図り、また各工事の工事区分を明確にすることで施工時に問題等を生じないよう細心の注意をしてください。       |
| 9 業務完了後の協議           | 委託業務完了後においても、成果物における疑義不明箇所、色彩計画その他設計上の疑問について、委託者はその都度受託者に協議を求めることができます。                                  |
| 10 重要事項説明            | ■ 重要事項説明を必要とする。                                                                                          |
| 11 電子納品              | ■ 電子納品対象業務とする。                                                                                           |

1 設計意図

令和9年4月のデータサイエンス学部定員増に伴い、総合研究教育棟2階を改修し必要となる整備を実施する。  
また、データサイエンス学部での活用を目的とした、文科系研究棟1階書庫の改修検討(基本設計のみ)も行う。  
総合研究教育棟改修設計に当たっては、データサイエンス研究科の機能強化を目的とした改修(令和6年度)を参考に設計を行う。

2 設計概要

□の項目については、■又は☑のみを適用します。

(1) 工事名称 総合研究教育棟データサイエンス学部その他改修工事(建築工事)

(2) 工事内容 □新築 □増築 ■改修 □耐震改修 □解体 □他( )

(3) 工事規模(想定) 敷地面積 約85,000 m<sup>2</sup>

総合研究教育棟2階の内部改修(約1,400m<sup>2</sup>)を実施する。  
また、文科系研究棟1階書庫(約200m<sup>2</sup>)については、今後の活用に向けた検討(基本設計のみ)を実施する。

(4) 設計条件

- 「公共建築物の設計方針について(通知)」における設計仕様の区分 □ A ■ B □ C
- 「公共建築物構造設計の用途係数基準」における用途係数 □ 1.5 □ 1.25 □ 1.0
- 法規制等の概要及び敷地・既存施設等の調査の概要 別紙1-1
- 電気設備・昇降機設備の設計と条件 別紙1-2
- 衛生設備・空調設備の設計と条件 別紙1-3
- 
- 
- 構造耐震指標(Is)及び保有水平耐力に係わる指標(q)を算出し、構造耐震補強目標指標(iIso)を上回ることを確認
- 保有水平耐力に係わる指標(q)については、「建築物の耐震改修の促進に関する法律」の趣旨に基づき耐震性能の有無について確認
- 補強各部分の構造計算を行うことにより、安全性を確認

3 業務の内容

□の項目については、■又は☑のみを適用します。

(1) 標準業務

- 基本設計  
既存建物の調査  
設計条件等の整理、法令上の諸条件の調査及び関係機関との打合せ、配置計画の検討、基本設計方針の策定  
基本設計図書の作成、基本設計内容の説明等、概算工事費の検討(内訳明細書、数量調書を除く)
- 実施設計  
実施設計図の作成  
工事費積算業務(内訳明細書、数量調書、積算根拠資料)を実施する。

(2) 追加業務

- 積算業務
- 透視図 ( 大きさ: A1 方向: 額の有無: 無 )
- 模型 ( 縮尺: 1/500 ケースの有無: 無 )
- 設計等打合せ議事録の作成
- 関係官庁・関係機関との打合せ記録の作成
- 既存施設調査(改修工事)
- 面積計算図、面積表 (文部科学省基準による)
- 
- 確認申請関連業務
- 消防法及び火災予防条例にもとづく申請関連業務
- 福祉のまちづくり条例にもとづく申請関連業務
- 緑の環境をつくり育てる条例にもとづく申請関連業務
- 都市緑地法にもとづく緑化地域制度の申請手続き
- 許認可申請関連業務( 建築基準法 □ 43条 □ 55条 □ 56条の2 □ □ )  
( 建築基準条例 □ 4条の2 □ 5条 □ □ )  
( □ 高度地区適用除外 ) ( □ 風致地区条例 ) ( □ □ )  
( 都市計画法 □ 53条 □ □ □ □ )
- 
- 横浜市中高層建築物等の建築及び開発事業に係る住環境の保全等に関する条例にもとづく手続き関連業務
- 横浜市開発事業の調整等に関する条例にもとづく調整及び手続き
- 横浜市環境の保全及び創造に関する基本条例にもとづく調整及び手続き
- 省エネルギー法にもとづく届出書類の作成
- CASBEEによる自己評価書の作成
- 耐震改修促進法にもとづく認定申請業務
- 横浜市生活環境の保全等に関する条例に基づく再生可能エネルギー利用設備導入検討報告書の作成
- 
- 横浜市公共建築物耐震工法検討委員会用の資料作成またはYSK耐震診断評定委員会への上程
- 横浜市技術審査会資料作成
-

### 法規制等概要及び調査項目

<b>■ 関連資料等</b>		□の項目については、■又は☑のみを適用します。								
<input type="checkbox"/> 基本(構想・計画)報告書 <input type="checkbox"/> 基本設計書 <input type="checkbox"/> 地質調査報告書 <input type="checkbox"/> 測量図 <input checked="" type="checkbox"/> 既存部の設計(又は竣工)図面 <input type="checkbox"/> 耐震診断報告書 <input type="checkbox"/> 劣化診断報告書 <input checked="" type="checkbox"/> 整備計画検討資料(令和6年度実施) <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>										
<b>■ 法規制等概要</b>		□の項目については、■又は☑のみを適用します。								
敷地所有	その他	備考( )								
測量調査		備考( )								
地質調査		備考( )								
用途地域等	市街化区域	・	第1種中高層住居専用地域	建ぺい率	60 %	<input type="checkbox"/> 角地緩和(+10%)				
高度地区	最高限	3 種	防火指定	準防火地域	容積率	150 % <input type="checkbox"/> 前面道路幅による制限				
日影規制	対象規模	軒高7m超又は地上3階以上		測定面高	4m	規制時間    3時間/2時間				
その他の地域地区	<input type="checkbox"/> 風致地区(第 種) <input checked="" type="checkbox"/> 宅地造成工事区域 <input type="checkbox"/> 街づくり協議地区(地区名) <input type="checkbox"/> 高度利用地区 <input type="checkbox"/> 駐車場整備地区 <input checked="" type="checkbox"/> 急傾斜地崩壊危険区域 <input type="checkbox"/> 臨港地区 <input type="checkbox"/> 近郊緑地特別保全地区 <input type="checkbox"/> 地区計画(地区名) <input type="checkbox"/> 建築協定(地区名) <input type="checkbox"/> 特定街区 <input type="checkbox"/> 土地区画整理地区 <input type="checkbox"/> 緑化地域 <input type="checkbox"/> 特別用途地区(地区名) <input type="checkbox"/> 土地区画整理促進区域 <input type="checkbox"/> 特別緑地保全地区 <input type="checkbox"/> 埋蔵文化財保存地区 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>									
前面道路	幅員	東	20.00 m	西	m	南	m	北	m	m
	建築基準法の区分	42条1項								
	所管区分	公道								
	備考									
その他										
<b>■ 調査項目</b>		□の項目については、☑は調査が必要な項目、■は特に注意すべき項目とします。								
(調査項目)	(調査内容)	(記 事)								
<input type="checkbox"/> 敷地状況	<input type="checkbox"/> (1)計画図と現況との照合 <input type="checkbox"/> (2)道路と敷地との関係 <input type="checkbox"/> (3)隣地・隣家との関係 <input type="checkbox"/> (4)切・盛土の要否	<input type="checkbox"/> 必要により測量を行う <input type="checkbox"/> 道路の性格 <input type="checkbox"/> 用途地域の確認 <input type="checkbox"/> 高さ制限のチェック <input type="checkbox"/> 日影規制のチェック								
<input type="checkbox"/> 搬入路	<input type="checkbox"/> (1)道路幅員 <input type="checkbox"/> (2)障害物 <input type="checkbox"/> (3)道路交通規制 <input type="checkbox"/> (4)舗装状況・程度	<input type="checkbox"/> 電柱 <input type="checkbox"/> 大型車等交通規制の確認								
<input type="checkbox"/> 敷地内障害物	<input type="checkbox"/> (1)樹木等の移植・伐採の要否 <input type="checkbox"/> (2)遊具、倉庫等付帯施設 <input type="checkbox"/> (3)埋設物、その他	<input type="checkbox"/> 移設は本工事に含む <input type="checkbox"/> 地下ケーブル・給配水管 <input type="checkbox"/> 既存建物基礎等								
<input type="checkbox"/> 解体施設	<input type="checkbox"/> (1)構造、規模等 <input type="checkbox"/> (2)設備関係	<input type="checkbox"/> 屋外付帯施設 <input type="checkbox"/> 外構施設								
<input type="checkbox"/> 接続する既存施設	<input type="checkbox"/> (1)法規チェック <input type="checkbox"/> (2)接続位置 <input type="checkbox"/> (3)外部仕上げ <input checked="" type="checkbox"/> (4)内部仕上げ(既存) <input type="checkbox"/> (5)公共下水道、屋外排水設備の状況 <input type="checkbox"/> (6)水道、ガス、電気、通信設備の状況	<input type="checkbox"/> 斜線制限・防火区画・日影規制等 <input type="checkbox"/> 構造、意匠 <input type="checkbox"/> 窓、庇の位置、形状等 <input type="checkbox"/> 防水仕様・劣化程度、堅樋位置等 <input type="checkbox"/> 廊下の内装、高さ等 <input type="checkbox"/> 位置、管径、管種等 <input type="checkbox"/> 位置、管径、管種等								



## 成果物の内容・仕様・部数等

成果図書	提出形態	部数
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 基本構想</li> <li>■ 基本計画</li> <li>■ 調査・診断等</li> </ul>	■が該当項目	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本構想報告書</li> <li>・ 基本計画報告書</li> <li>・ 耐震診断報告書</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ A3判見開き二つ折り製本(A4判製本)</li> <li>・ PDFデータ</li> </ul>	

成果図書	提出形態	部数
<b>■ 基本設計</b>	■が該当項目	
<b>■ 基本設計報告書(建築)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 案内・配置検討図</li> <li>■ 各階平面図</li> <li>■ 仕様概要表</li> <li>■ 仕上表</li> <li>・ 面積・求積図表</li> <li>■ 主要部詳細図</li> <li>■ 工事費概算書</li> <li>■ 既存調査報告書</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 構造計画概要書</li> <li>・ 計画説明図</li> <li>・ 基本構造計画案</li> <li>・ 関係法令検討図</li> <li>・ 構造計算書</li> <li>・ 各種打合せ記録</li> </ul>	1
<b>■ 基本設計報告書(電気設備、昇降機設備等)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 案内図・配置図</li> <li>・ 設備計画図</li> <li>・ 各種技術資料</li> <li>・ 設備計画概要書</li> <li>・ 方式比較検討書</li> <li>・ 各種打合せ記録</li> <li>・ 設備仕様概要表</li> <li>・ 工事費概算書</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 基本設計報告書</li> <li>■ A3判見開き二つ折り製本(A4判製本) (建築、電気、機械等全工種合冊)</li> </ul>	1
<b>■ 基本設計報告書(空調設備、衛生設備等)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 案内図・配置図</li> <li>・ 設備計画図</li> <li>・ 各種技術資料</li> <li>・ 設備計画概要書</li> <li>・ 方式比較検討書</li> <li>・ 各種打合せ記録</li> <li>・ 設備仕様概要表</li> <li>・ 工事費概算書</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 電子データを保存したCD-RまたはDVD</li> <li>■ 受託者が使用したCAD</li> <li>■ SXF(P21)又はDXF</li> <li>■ PDF</li> </ul>	1
<b>■ その他</b>		

**■ 実施設計** ※電子データの提出方法の詳細は「設計委託での成果図書の電子納品について」によります  
 ※提出形態、部数、提出時期についての詳細は監督員と協議して下さい

成果図書	提出形態	まとめ単位	部数	提出時期(予定)
<b>■ 建築総合設計図</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 図面リスト</li> <li>■ 特記仕様書</li> <li>■ 案内図・配置図</li> <li>■ 工事概要</li> <li>■ 工事区分表</li> <li>・ 面積表・求積図表</li> <li>■ 仕上表</li> <li>・ 各階平面図</li> <li>■ 各階既存平面図</li> <li>■ 各階改修平面図</li> <li>・ 立面図・断面図</li> <li>■ 矩計図</li> <li>・ 階段詳細図</li> <li>■ 平面詳細図</li> <li>・ 各階床伏図</li> <li>・ 各階天井伏図</li> <li>■ 展開図</li> <li>■ 各階部分詳細図</li> <li>■ 建具キープラン</li> <li>■ 建具表</li> <li>・ 備品リスト</li> <li>・ 備品図</li> <li>・ 調理機器リスト</li> <li>・ 調理機器備品図</li> <li>■ 既存解体図</li> <li>■ サイン計画図</li> <li>・ 雑詳細図</li> <li>■ ディテールシート</li> <li>・ 外構平面図・詳細図</li> <li>・ 屋外排水平面図・詳細図</li> <li>・ 屋外排水縦断図</li> <li>・ 仮設計画図(参考図)</li> <li>・ 日影図</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 原図 図面ケース入</li> <li>・ 原則、厚手A1判トレーシングペーパー 背表紙文字付、図面仕様は別紙3-2による</li> <li>■ 【図面決裁用】</li> <li>・ 紐綴じ A1判左綴じA4折り ただし下水施設はB5折り A3判(50%縮小)で可の場合もあり</li> <li>■ 【契約書用】</li> <li>・ 紐綴じ A1判左綴じA4折り</li> </ul>			
<b>■ 建築構造設計図</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 構造設計標準仕様書</li> <li>・ 耐震補強特記仕様書</li> <li>・ RC造配筋標準図</li> <li>・ RC造架構詳細図</li> <li>・ 鉄骨構造標準図</li> <li>・ 鉄骨架構詳細図</li> <li>・ 各リスト・標準詳細図</li> <li>・ 各種伏図</li> <li>・ 軸組図</li> <li>・ 各部断面図</li> <li>・ 各部詳細図</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 製本 A3判(50%縮小)二つ折りA4判</li> <li>・ 表紙・背表紙文字入れは監督員の指示による</li> </ul>	別途指示	1	履行期限
<b>■ 電気設備設計図</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図面リスト</li> <li>・ 特記仕様書</li> <li>・ 工事概要</li> <li>・ 凡例</li> <li>・ 案内図・配置図</li> <li>・ 工事区分表</li> <li>・ 面積表</li> <li>・ 系統図</li> <li>・ 動力設備平面図</li> <li>・ 電灯設備平面図</li> <li>・ 弱電設備平面図</li> <li>・ 分電盤結線図</li> <li>・ 器具リスト</li> <li>・ 器具姿図</li> <li>・ 詳細図</li> <li>・ 既存撤去図</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 製本(A3判以外に必要な場合)</li> <li>・ サイズ、まとめ単位、表紙・背表紙文字入れは各監督員の指示による</li> </ul>			
<b>■ 機械設備設計図(空調・衛生設備等)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図面リスト</li> <li>・ 特記仕様書</li> <li>・ 工事概要</li> <li>・ 凡例</li> <li>・ 案内図・配置図</li> <li>・ 工事区分表</li> <li>・ 面積表</li> <li>・ 系統図</li> <li>・ 空調設備平面図</li> <li>・ 衛生設備平面図</li> <li>・ 屋外設備図</li> <li>・ 詳細図</li> <li>・ 機器表・器具表</li> <li>・ 既存撤去図</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 電子データ</li> <li>・ CD-RまたはDVD</li> <li>■ 受託者が使用したCAD</li> <li>・ SXF(P21)又はDXF</li> <li>・ PDF</li> </ul>	全工 事合 冊	1	履行期限
<b>■ 昇降機設備設計図</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 案内図・配置図</li> <li>・ 工事区分表</li> <li>・ 特記仕様書</li> <li>・ 各階平面図</li> <li>・ 立面図</li> <li>・ 断面図</li> </ul>				

■ 実施設計(設計書、計算書、業務記録その他)

■が該当項目

成果図書	提出形態	まとめ 範囲	部 数	提出時期 (予定)
<b>■ 積算関係</b>				
■ 工事積算内訳書	電子データ	全工事 合冊	1	履行期限
■ 数量調書	A4判ファイル綴じ又は製本	全工 事合 冊	1	1月上旬
■ 積算根拠資料(建築工事積算マニュアルによる各種算定シート、その他積算の根拠となる資料)				
■ 見積関係資料(見積比較表、見積書、参考刊行物・カタログ・パンフレットの写し等)				
・ 計算書、業務記録その他				
・ 既存施設調査報告書	A4判ファイル綴じ又は製本			
・ 既存設備調査報告書	A4判ファイル綴じ又は製本			
構造計算書 ・ 原則、A4判縦長用紙に横書きとし、通しページ番号をふる。 ただし、電算出力帳票等はこの限りにあらず。	A4判ファイル綴じ又は製本 電子データ 受託者が使用したソフト及びPDF			
・ 設備設計計算書	A4判ファイル綴じ又は製本			
・ 横浜市技術審査会議への提出資料	A4判ファイル綴じ又は製本			
・ 横浜市公共建築物耐震工法検討委員会等の第三者評価機関への提出資料	A4判ファイル綴じ又は製本			
・ 透視図(仕様: )				
・ 模型(仕様: )				
・ 設計打合せ議事録(「打合せ簿」及び独自に作成した議事録等)	A4判ファイル綴じ又は製本			
・ 関係官公庁、関係機関との協議記録	A4判ファイル綴じ又は製本			
・ 設計説明資料	A4判(書式は別途指示)			

■ 関係法令認可書、許可書等

■が該当項目

成果図書	提出形態	部 数	提出時期 (予定)
■ 関係法令チェック表	原本	1	履行期限
建築基準法にもとづく確認申請(昇降機)	正本、副本、電子データ		
建築基準法・都市計画法等にもとづく各種許可	正本、副本、電子データ		
消防法及び火災予防条例にもとづく申請	正本、副本、電子データ		
福祉のまちづくり条例にもとづく申請	正本、副本、電子データ		
緑の環境をつくり育てる条例及び緑化地域制度にもとづく申請	正本、副本、電子データ		
省エネルギー法にもとづく届出関係書類			
CASBEEにもとづく自己評価書			
中高層建築物等住環境保全条例にもとづく事前手続			
開発事業調整条例にもとづく届出、協議、申請			
宅地造成等規制法にもとづく許可			
再生可能エネルギー利用設備導入検討報告書			

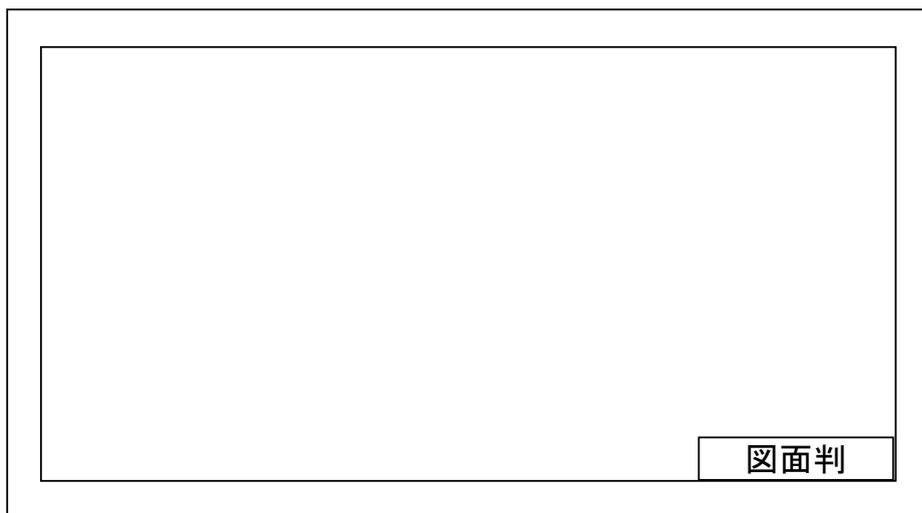
■ その他、施設別に必要となる成果図書

■が該当項目

成果図書	提出形態	部 数	提出時期 (予定)
<b>■ 委託成果品のチェック</b>			
■ 委託成果物納品チェックリスト(図面)(内訳書)(電子データ)(建築)	書式は別途指示	1	履行期限
・ 委託成果物納品チェックリスト(図面)(内訳書)(電子データ)(電気設備)	書式は別途指示		
・ 委託成果物納品チェックリスト(図面)(内訳書)(電子データ)(機械設備)	書式は別途指示		
・ 庁舎施設( )			
・ 住宅施設( )			
・			
・			
・ その他( )			

## 成果図面(設計原図)の仕様

- 1 用紙 指定なし
- 2 寸法・単位 寸法はメートル法とし、単位はmmとする。
- 3 縮尺 設計内容を十分表現できる縮尺とし、特別の場合を除き基本的に次の中から選択する。  
1/500、1/200、1/100、1/50、1/20、1/10、1/5
- 4 仕様書 工事に関する特記仕様書は、設計図に含む。
- 5 図面判その他 図面判の位置、書式は下図による。



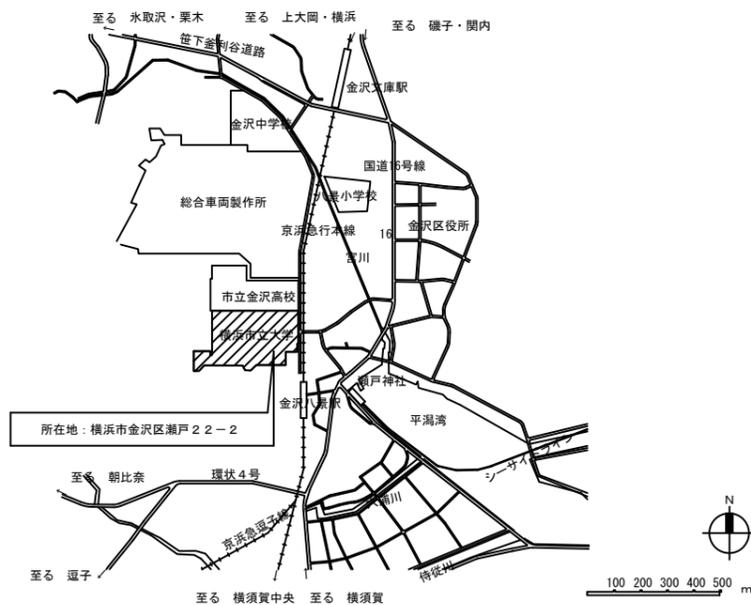
図面判

横浜市立大学			工事名	
年月日		縮尺	図面名称	
設 計 者			図面番号	

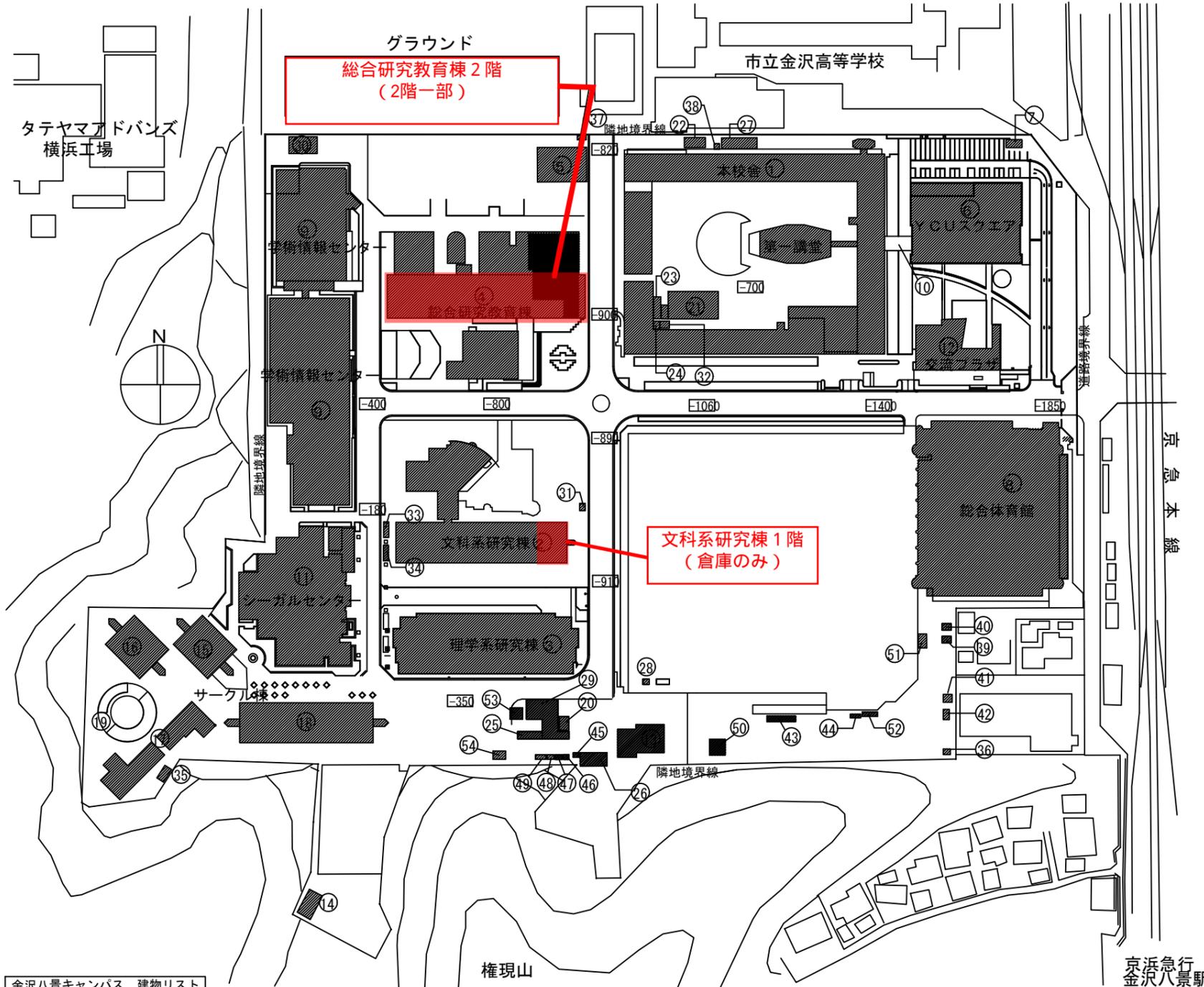
建築概要

建築地	(地名地番) - (住居表示) 神奈川県横浜市金沢区瀬戸22番2号
用途	大学
工事種別	改修
構造・規模	SRC、RC 地下1階、地上5階建て
前面道路	幅員：東面 10m
敷地面積	84,630.890㎡
建築面積	2,859.267㎡
延床面積	
	合計 9,560.102㎡
軒高	20,200m
最高高さ	29,720m
都市計画区域	区域内
用途地域	第一種中高層住居専用地域
防火地域	準防火地域
高度地区	第3種
日影規制	軒高7m超又は3階以上、測定面高さ 4m、規制時間 3時間/2時間
建築協定	なし
壁面後退	なし
絶対高さ	なし
建ぺい率	60.00%
容積率	150.00%
その他	宅地造成工事区域、急傾斜崩壊危険区域

案内図 縮尺=N. S.



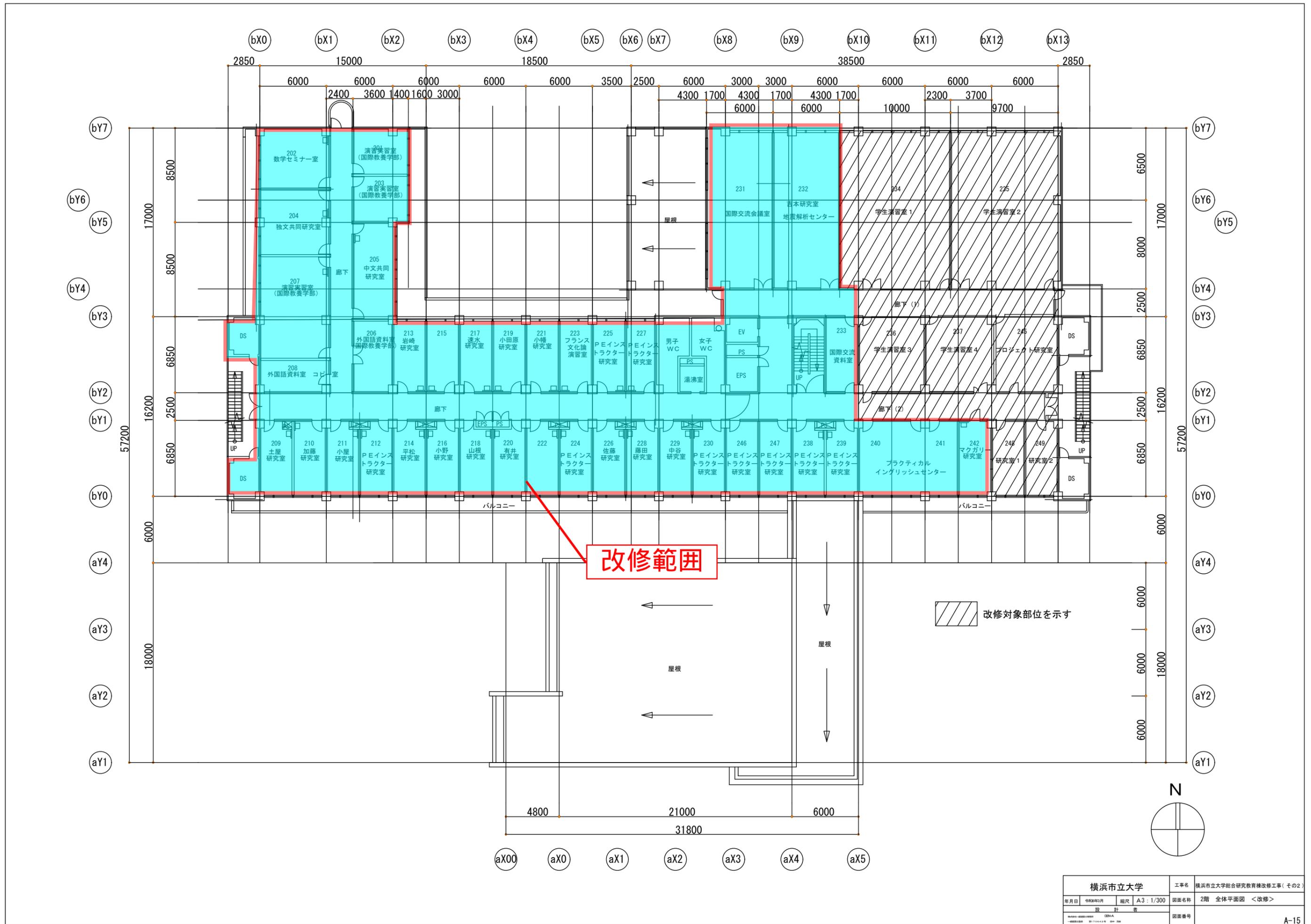
配置図 縮尺=1/2000



金沢八景キャンパス 建物リスト

番号	建物名称	構造・階数	番号	建物名称	構造・階数	番号	建物名称	構造・階数	番号	建物名称	構造・階数
①	本校舎 (第一講堂舎)	RC-3・B1	⑩	サークル棟 A棟	RC-3	⑲	備蓄倉庫	S-1	⑳	野球部倉庫	S-1
②	文科系研究棟	RC-6	⑪	サークル棟 B棟	RC-3	㉑	クライコテクノロジラボ	S-1	㉒	野球部倉庫	CB-1
③	理学系研究棟	RC-5	⑫	サークル棟 C棟	RC-2	㉓	外部WC	RC-1	㉔	倉庫	S-1
④	総合研究教育棟	SRC+RC-5・B1	⑬	サークル棟 D棟	RC-2	㉕	倉庫	W-1	㉖	倉庫	S-1
⑤	産学共同研究センター	RC-1	⑭	ステージ・スタンド棟	RC-1	㉗	倉庫	S-1	㉘	倉庫	S-1
⑥	YCUスクエア	RC・S-5	⑮	公用車庫	S-1	㉙	自転車置場	S-1	㉚	倉庫	S-1
⑦	ガスバーナー室	CB-1	⑯	グローバル推進室事務室	S-1	㉛	陶芸窯場	S-1	㉜	倉庫	S-1
⑧	総合体育館	RC-3・B1	⑰	ボイラー室	S-1	㉝	倉庫	S-1	㉞	自動車部倉庫	S-1
⑨	学術情報センター	SRC+RC+S-4・B2	⑱	渡り廊下①	S-1	㉟	倉庫	S-1	㊱	選手控え室	CB-1
⑩	渡り廊下	S-2	㉑	渡り廊下②	S-1	㊲	倉庫	S-1	㊳	選手控え室	CB-1
⑪	シーガルセンター	RC-4・B1	㉒	実験廃棄物倉庫	S-1	㊴	倉庫	S-1	㊵	危険物倉庫	RC-1
⑫	交流プラザ	RC・S-1	㉓	運動部倉庫	S-1	㊶	倉庫	S-1	㊷	廃液保管庫	RC-1
⑬	動物舎	S-1	㉔	学務課倉庫	RC-1	㊸	倉庫	S-1			
⑭	弓道場	W-1	㉕	スプリンクラー庫	S-1	㊹	倉庫	S-1			

# 総合研究教育棟



改修範囲

改修対象部位を示す

横浜市立大学		工事名	横浜市立大学総合研究教育棟改修工事(その2)
年月日	令和3年3月	縮尺	A3 : 1/300
図面名称	2階 全体平面図 <改修>		
設計者	CEN		
図面番号	A-15		

内部仕上表

階	部屋No. 部屋名 / 天井高	区分	床	巾木	壁	天井	備考	
2階	改修前 L.L実習室(1) CH=2600	撤去	軽量コンクリート t=100 金ゴテ下地 OAフロア h=80 タイルカーペット t=6.5 貼り :撤去 (タイルカーペット t=6.5 貼りのみ)	ビニル巾木 h=60 :撤去	(部屋側) LGS下地(グラスウール t=100)、有孔石綿ケイカル板 t=8、VE :撤去 (有孔石綿ケイカル板 t=8、VEのみ) (廊下側) LGS下地、石膏ボード t=9+12、内部用吹付タイル:撤去 (間仕切壁部屋側) LGS下地、石膏ボード t=9+12、ビニルクロス貼り:撤去 (ビニルクロス貼りのみ) (柱型) コンクリート下地、パーライトモルタル金ゴテ t=10、ビニルクロス貼り :撤去 (ビニルクロス貼りのみ)	(一般部) LGS下地、石膏ボード t=9、岩綿吸音板 t=12 貼り :撤去 (石膏ボード t=9、岩綿吸音板 t=12 貼りのみ) (設備更新部) LGS下地、石膏ボード t=9、岩綿吸音板 t=12 貼り :撤去	ホワイトボード:撤去 床置き設備収納部:撤去 既存吹き付けタイル、パーライトに アスベスト(レベル3)含有有り	
	改修後 234 学生演習室1 CH=2600	改修	タイルカーペット t=6.5 貼り :新設	ビニル巾木 h=60 :新設	(部屋側) 石膏ボード t=9.5+12.5、ビニルクロス貼り:新設 (廊下側) LGS下地(グラスウール t=100)、強化石膏ボード t=12.5+12.5 (両面) 内部用吹付タイル:新設 (間仕切壁部屋側) ビニルクロス貼り:新設 (柱型) ビニルクロス貼り:新設	(一般部) LGS下地、石膏ボード t=9、岩綿吸音板 t=12 貼り :新設 (石膏ボード t=9、岩綿吸音板 t=12 貼りのみ) (設備更新部) LGS下地、石膏ボード t=9、岩綿吸音板 t=12 貼り :新設	-	
	改修前 L.L実習室(2) CH=2600	撤去	軽量コンクリート t=100 金ゴテ下地 OAフロア h=150 タイルカーペット t=6.5 貼り :撤去 (タイルカーペット t=6.5 貼りのみ)	同上	同上	同上	同上	ホワイトボード:撤去 床置き設備収納部:撤去 既存吹き付けタイル、パーライトに アスベスト(レベル3)含有有り
	改修後 235 学生演習室2 CH=2600	改修	タイルカーペット t=6.5 貼り :新設	同上	同上	同上	同上	-
	改修前 L.L編集室 CH=2600	撤去	コンクリート金ゴテ下地 長尺塩ビシート t=2.5 貼り :撤去 (長尺塩ビシート t=2.5 貼りのみ)	同上	同上	同上	LGS下地、石膏ボード t=9、岩綿吸音板 t=12 貼り :撤去 (石膏ボード t=9、岩綿吸音板 t=12 貼りのみ)	既存吹き付けタイル、パーライト にアスベスト(レベル3)含有有り
	改修後 245 プロジェクト研究室 CH=2600	改修	長尺塩ビシート t=2.5 貼り :新設	同上	同上	同上	石膏ボード t=9.5、岩綿吸音板 t=12.5 貼り :新設 (石膏ボード t=9、岩綿吸音板 t=12 貼りのみ)	-
	改修前 録音室 CH=2600	撤去	コンクリート金ゴテ下地 長尺塩ビシート t=2.5 貼り :撤去 (長尺塩ビシート t=2.5 貼りのみ) LGS下地、構造用合板(T-1) t=12 ニードルパンチカーペット貼り :撤去 (上床)	同上	RC壁(W=150)、LGS下地(グラスウール t=100)、有孔石綿ケイカル板 t=8、VE :撤去 (RC壁はウォールソーイング工法にて撤去)	LGS下地、石膏ボード t=9、岩綿吸音板 t=12 貼り :撤去	-	
	改修後 245 プロジェクト研究室 CH=2600	改修	長尺塩ビシート t=2.5 貼り :新設	同上	LGS下地(グラスウール t=100)、強化石膏ボード t=12.5+12.5 (両面)、ビニルクロス貼り :新設	LGS下地、石膏ボード t=9.5、岩綿吸音板 t=12.5 貼り :新設	-	
	改修前 L.Lテープライブラリー CH=2600	撤去	コンクリート金ゴテ下地 長尺塩ビシート t=2.5 貼り :撤去 (長尺塩ビシート t=2.5 貼りのみ)	同上	(部屋側) LGS下地、石膏ボード t=9+12、ビニルクロス貼り:撤去 (ビニルクロス貼りのみ) (廊下側) LGS下地、石膏ボード t=9+12、内部用吹付タイル:撤去 (間仕切壁部屋側) LGS下地、石膏ボード t=9+12、ビニルクロス貼り:撤去 (ビニルクロス貼りのみ) (柱型) コンクリート下地、パーライトモルタル金ゴテ t=10、ビニルクロス貼り :撤去 (ビニルクロス貼りのみ)	(一般部) LGS下地、石膏ボード t=9、岩綿吸音板 t=12 貼り :撤去 (石膏ボード t=9、岩綿吸音板 t=12 貼りのみ) (設備更新部) LGS下地、石膏ボード t=9、岩綿吸音板 t=12 貼り :撤去 (壁面新設部) LGS下地、石膏ボード t=9、岩綿吸音板 t=12 貼り :撤去	既存吹き付けタイル、パーライトに アスベスト(レベル3)含有有り	
	改修後 236 学生演習室3 237 学生演習室4 CH=2600	改修	長尺塩ビシート t=2.5 貼り :新設	同上	(部屋側) ビニルクロス貼り:新設 (廊下側) LGS下地(グラスウール t=100)、強化石膏ボード t=12.5+12.5 (両面) 内部用吹付タイル:新設 (間仕切壁部屋側) ビニルクロス貼り:新設 (柱型) ビニルクロス貼り:新設	(一般部) 石膏ボード t=9.5、岩綿吸音板 t=12.5 貼り :新設 (石膏ボード t=9、岩綿吸音板 t=12 貼りのみ) (設備更新部) LGS下地 石膏ボード t=9.5、岩綿吸音板 t=12.5 貼り:新設 (壁面新設部) 石膏ボード t=9.5、岩綿吸音板 t=12.5 貼り :新設 (石膏ボード t=9、岩綿吸音板 t=12 貼りのみ)	-	
	改修前 L.L事務室 CH=2600, 2350	撤去	同上	同上	同上	同上	同上	ブラインド :撤去 (W=2550) 2箇所
	改修後 243 研究室1 244 研究室2 CH=2600, 2350 廊下(2)	改修	同上	同上	同上	同上	同上	ブラインド :新設 (W=2475) 2箇所

(参考) R6年度改修内容

横浜市立大学			工事名	横浜市立大学総合研究教育棟改修工事
年月日	令和6年3月	編尺	A3: N.S.	図面名称
設計			表	内部仕上表(1)
株式会社一般建築士事務所DEN-A 一般建築士事務所 第170642号 建築士 天野			図面番号	

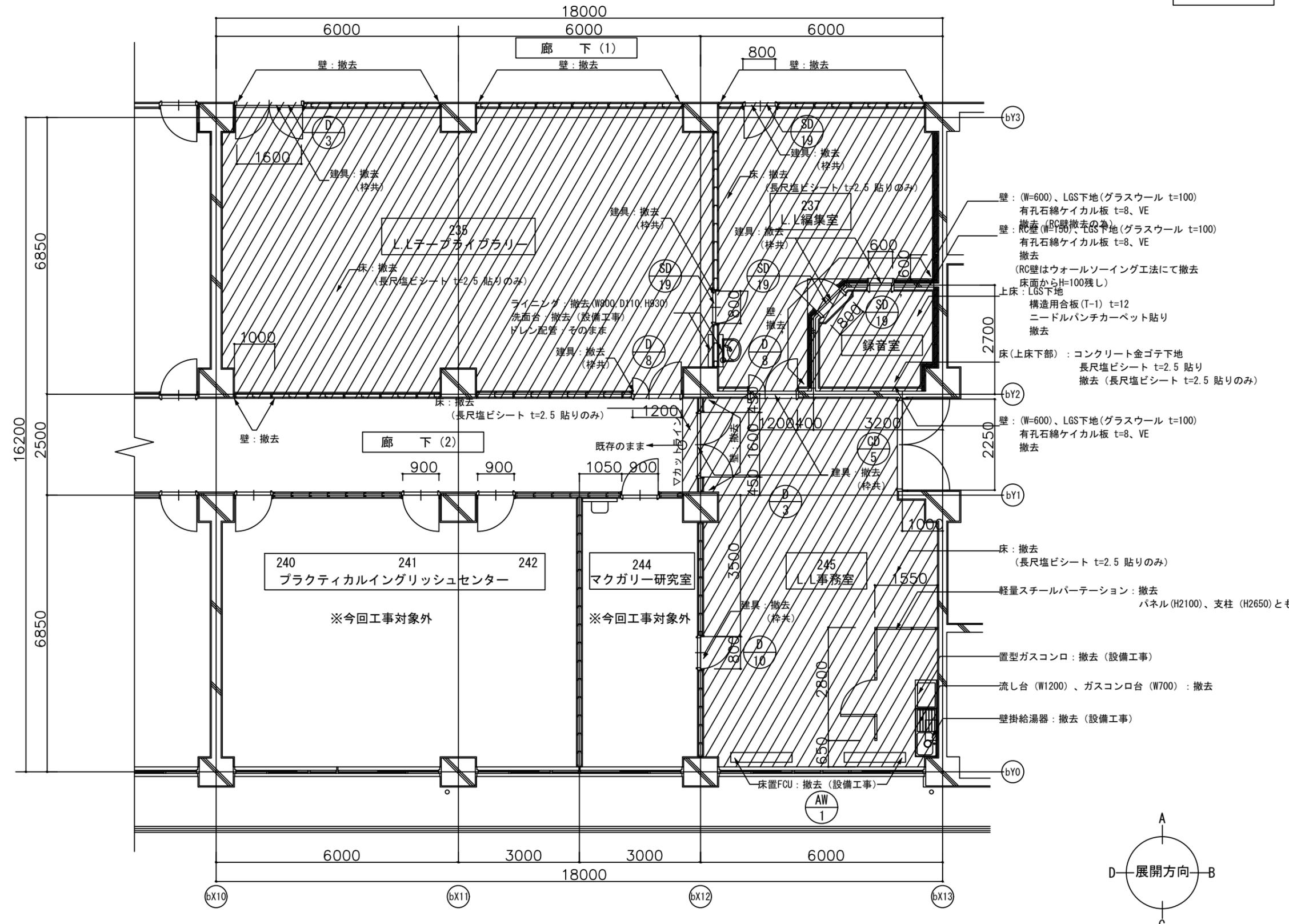
内部仕上表								
階	部屋名 / 天井高	区分	床	巾木	壁	天井	備考	
2階	改修前	廊下 (1) CH=4380, 2350	撤去	(一般部) コンクリート金ゴテ下地 長尺塩ビシート t=2.5 貼り : 全面撤去 (長尺塩ビシート t=2.5 貼りのみ) (壁面撤去部) コンクリート金ゴテ下地 長尺塩ビシート t=2.5 貼り : 全面撤去 (長尺塩ビシート t=2.5 貼りのみ)	ビニル巾木 h=60 : 撤去	(廊下側) (柱型) LGS下地(グラスウール t=100)、石膏ボード t=9+12、内部用吹付タイル : 撤去 コンクリート下地、パーライトモルタル金ゴテ t=10、内部用吹付タイル : 撤去 (ビニルクロス貼りのみ)	(一般部) LGS下地、石膏ボード t=9、岩綿吸音板 t=19 貼り : 撤去 (石膏ボード t=9、岩綿吸音板 t=19 貼りのみ) (設備更新部) LGS下地、石膏ボード t=9、岩綿吸音板 t=19 貼り : 撤去	ホワイトボード、掲示板 : 撤去 既存吹き付けタイル、パーライト にアスベスト (レベル3) 含有有り
	改修後	廊下 (1) CH=4380, 2350	改修	(一般部) 長尺塩ビシート t=2.5 貼り : 更新 (壁面撤去部) 長尺塩ビシート t=2.5 貼り : 更新	ビニル巾木 h=60 : 新設	(廊下側) (柱型) LGS下地(グラスウール t=100)、強化石膏ボード t=12.5+12.5 (両面) 内部用吹付タイル: 新設 ビニルクロス貼り : 新設	(一般部) LGS下地、石膏ボード t=9、岩綿吸音板 t=19 貼り : 新設 (石膏ボード t=9、岩綿吸音板 t=12 貼りのみ) (設備更新部) LGS下地、石膏ボード t=9、岩綿吸音板 t=12 貼り : 撤去	-
	改修前	廊下 (2) CH=2350	撤去	同上	同上	同上	(一般部) LGS下地、石膏ボード t=9、岩綿吸音板 t=19 貼り : 撤去 (石膏ボード t=9、岩綿吸音板 t=19 貼りのみ) (設備更新部) LGS下地、石膏ボード t=9、岩綿吸音板 t=19 貼り : 撤去 (壁面新設部) LGS下地、石膏ボード t=9、岩綿吸音板 t=19 貼り : 撤去	ホワイトボード : 撤去 既存吹き付けタイル、パーライト にアスベスト (レベル3) 含有有り
	改修後	廊下 (2) CH=2350	改修	同上	同上	同上	(一般部) - (設備更新部) LGS下地 石膏ボード t=9.5、岩綿吸音板 t=12 貼り: 新設 (壁面新設部) LGS下地 石膏ボード t=9.5、岩綿吸音板 t=12 貼り: 新設	-

内部仕上特記	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 廻り縁について 特記なき、すべての天井改修部分には、「塩ビ天井廻り縁」を使用すること</li> <li>■ 補修範囲、箇所について 撤去により、既存部位の平滑性、凹凸、隙間が生じた (※原則隙間が生じないように施工すること) 場合は、その範囲を撤去し、既存同材にて補修すること また、取合い部はコーキングにより処理を行うこと</li> <li>■ 下地処理について 新設する部位は、適切に下地処理を行い施工すること</li> <li>■ 塗料略号 VE 塩化ビニルエナメル塗装 EP-G ツヤ有り合成樹脂エマルジョンペイント</li> </ul> <p>特記 ・使用する材料はすべてF☆☆☆☆仕様とする。 ・天井裏等 (収納スペース内部等を含む) は、上記同様F☆☆☆☆仕様とする</p>
--------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

外部仕上表						
階	部位	区分	仕上			
2階	改修前	軒天井 (南側バルコニー)	撤去	LGS、特殊石綿板 t=6、ST(単層弾性仕上塗材) 吹付 : 撤去 (特殊石綿板 t=6、ST(単層弾性仕上塗材) 吹付) のみ		
	改修後		改修	珪酸カルシウム板 t=6、多機能型単層弾性仕上塗材吹付 : 新設		

(参考) R6年度改修内容

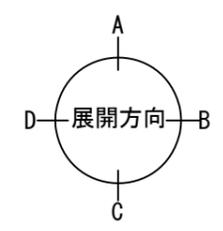
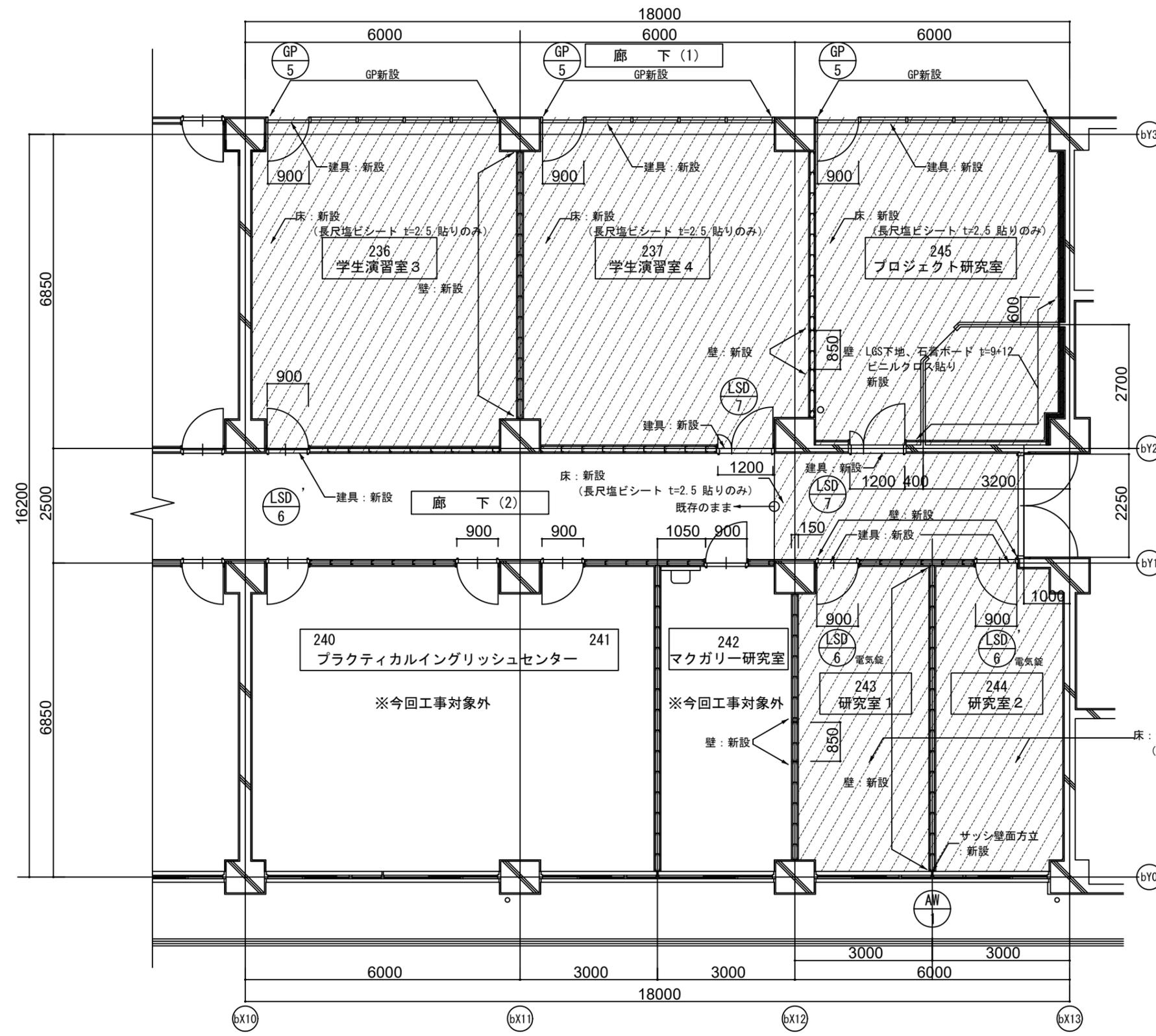
# 撤去



(参考) R6年度改修内容

横浜市立大学		工事名	横浜市立大学総合研究教育棟改修工事
年月日	令和6年3月	縮尺	A3: 1/100
図面名称	平面詳細図 <撤去> (2) LLテープライブラリー、LL編集室、廊下(2)		
図面番号	DEN-A		
A-27			

# 改修



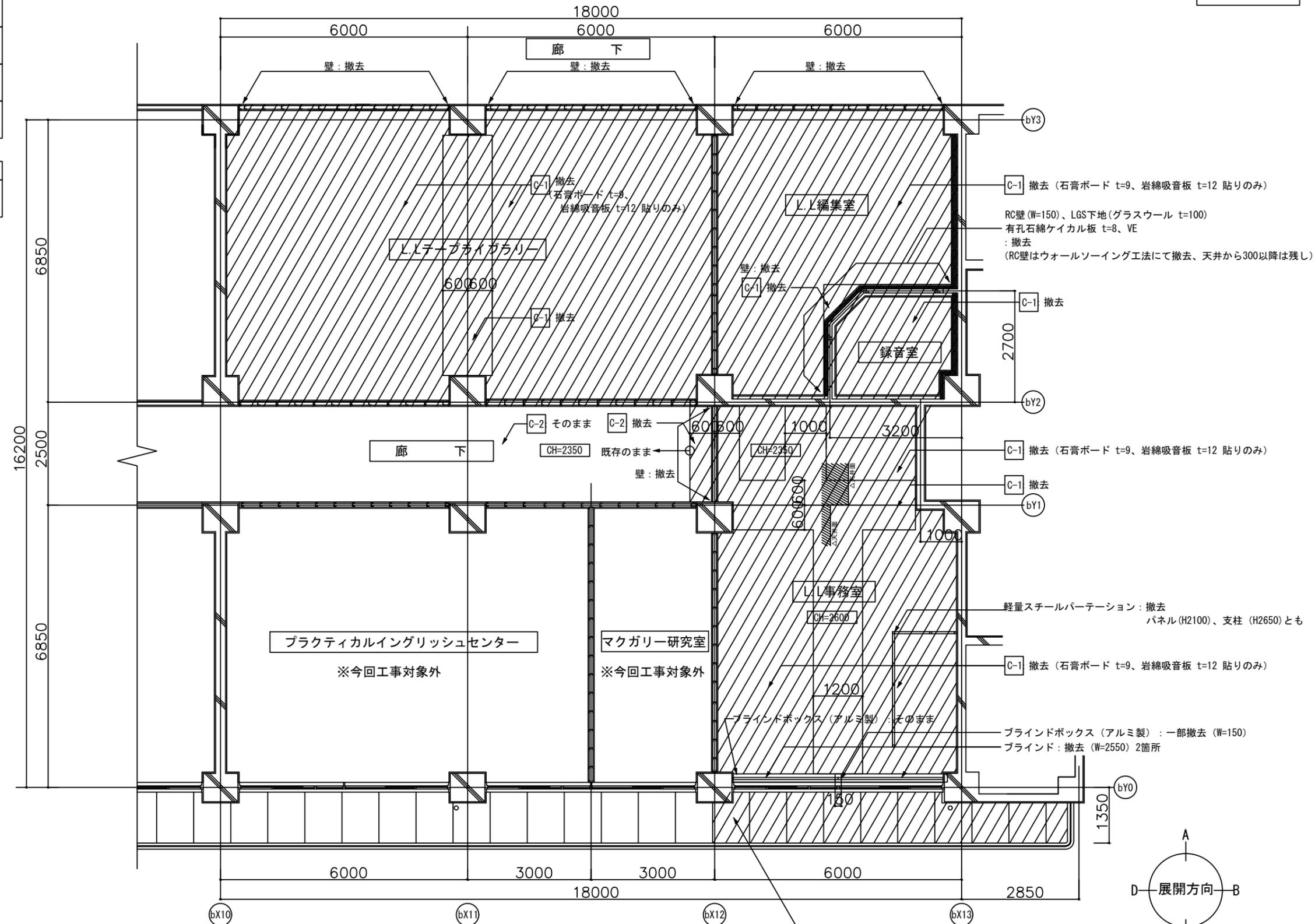
## (参考) R6年度改修内容

横浜市立大学		工事名	横浜市立大学総合研究教育棟改修工事
年月日	令和6年3月	縮尺	A3: 1/100
図面名称		平面詳細図 <改修> (2) 学習演習室3, 4, 研究室1, 2, プロジェクト研究室改修 (2)	
設計者		図面番号	A-28
<small>株式会社一般社団法人OEN-A 一級建築士事務所 第13044号 建築士 岡中 亮輔</small>			

# 撤去

L.Lテーブルラリー、録音室 L.L編集室、L.L事務室、廊下(2)		
部位	記号	仕上
天井	C-1	LGS下地 石膏ボード t=9 岩綿吸音板 t=12 貼り
	C-2	LGS下地 石膏ボード t=9 岩綿吸音板 t=19 貼り
	C-3	コンクリート下地 パーライト t=4 吹付
	C-4	コンクリート下地 VP

凡例	
	壁面、建具 撤去を示す



**(参考) R6年度改修内容**

横浜市立大学		工事名	横浜市立大学総合研究教育棟改修工事
年月日	令和6年3月	縮尺	A3: 1/100
図面名称	天井吹込 <撤去> (2) L.L.テーブルラリー、録音室、L.L.編集室、L.L.事務室、廊下(2)		
図面番号	DEN-A		
図面番号	A-37		

**新設**

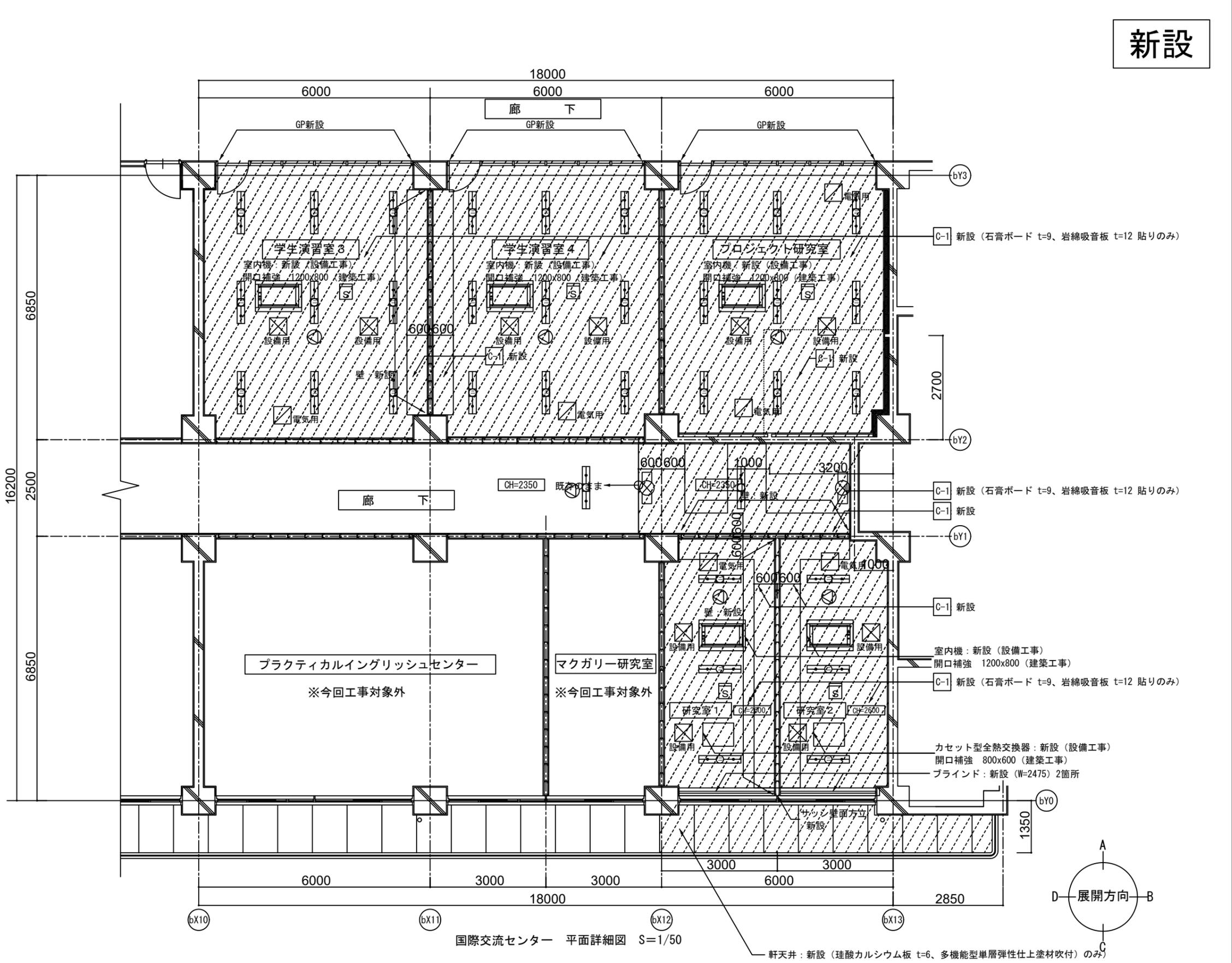
学習演習室3, 4、研究室1, 2 プロジェクト研究室、廊下 (2)		
部位	記号	仕上
天井	C-1	LGS下地 石膏ボード t=9 岩綿吸音板 t=12 貼り
	C-2	LGS下地 石膏ボード t=9 岩綿吸音板 t=19 貼り
	C-3	コンクリート下地 パーライト t=4 吹付
	C-4	コンクリート下地 VP

凡例	
	壁面、建具 新設を示す
	天井点検口 新設を示す 450角アルミ製・パネル天井同材 (建築工事)
	電気用 同上

図面記載なき、開口補強 (建築工事) を以下に示す  
※設置箇所は、電気設計図書によること

- ・照明設置における開口補強  
無し
- ・スピーカー設置における開口補強  
計5箇所

凡例 (電気、設備)	
	空調室内機を示す
	照明を示す
	スピーカーを示す
	感知器を示す

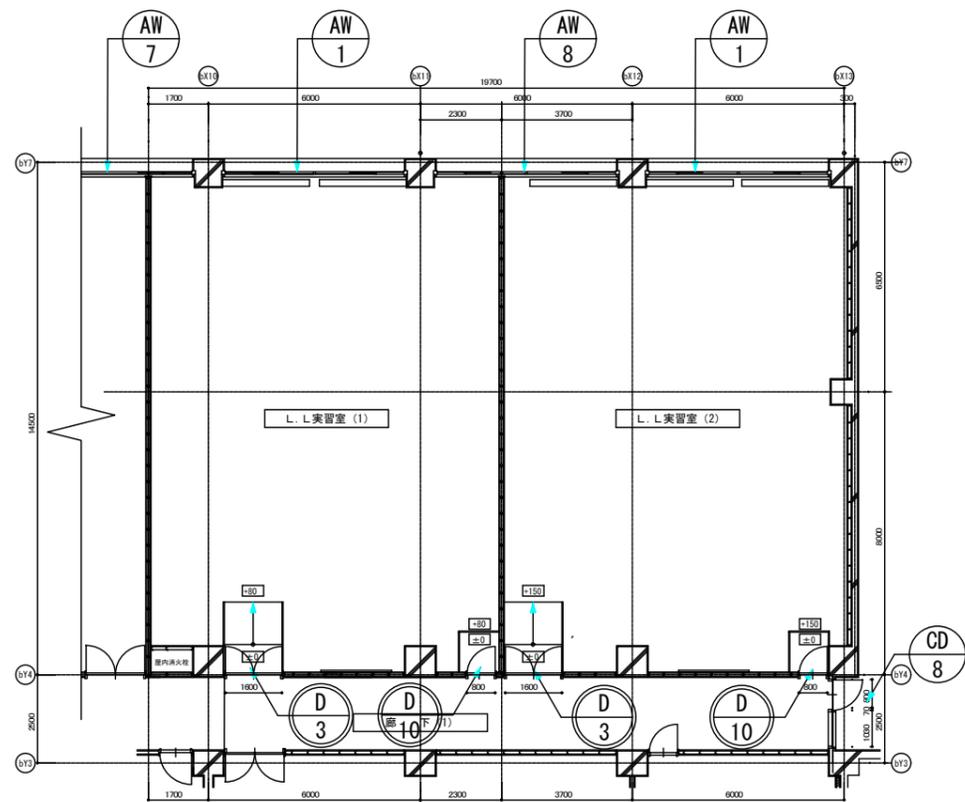


国際交流センター 平面詳細図 S=1/50

**(参考) R6年度改修内容**

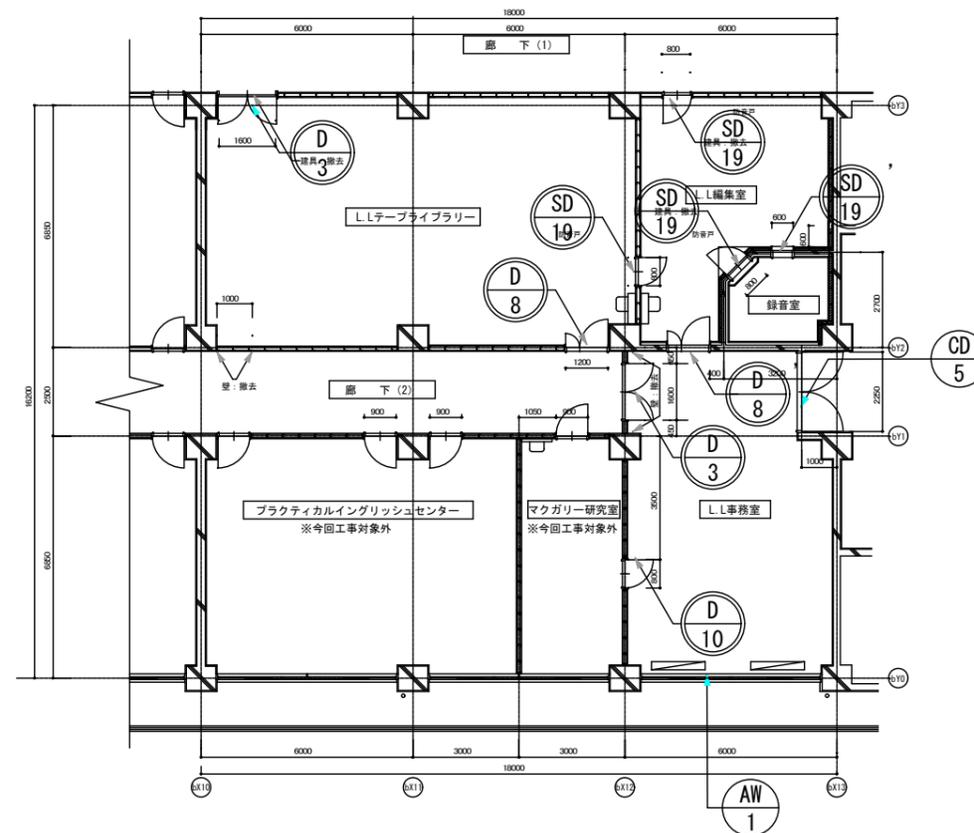
横浜市立大学		工事名	横浜市立大学総合研究教育棟改修工事
年月日	令和6年3月	縮尺	A3: 1/100
図面名称	天井伏図 <改修> (2) 学習演習室3, 4、研究室1, 2 プロジェクト研究室、廊下 (2)		
設計者	株式会社 建築設計事務所 DEN-A		
図面番号	A-38		

# 撤去



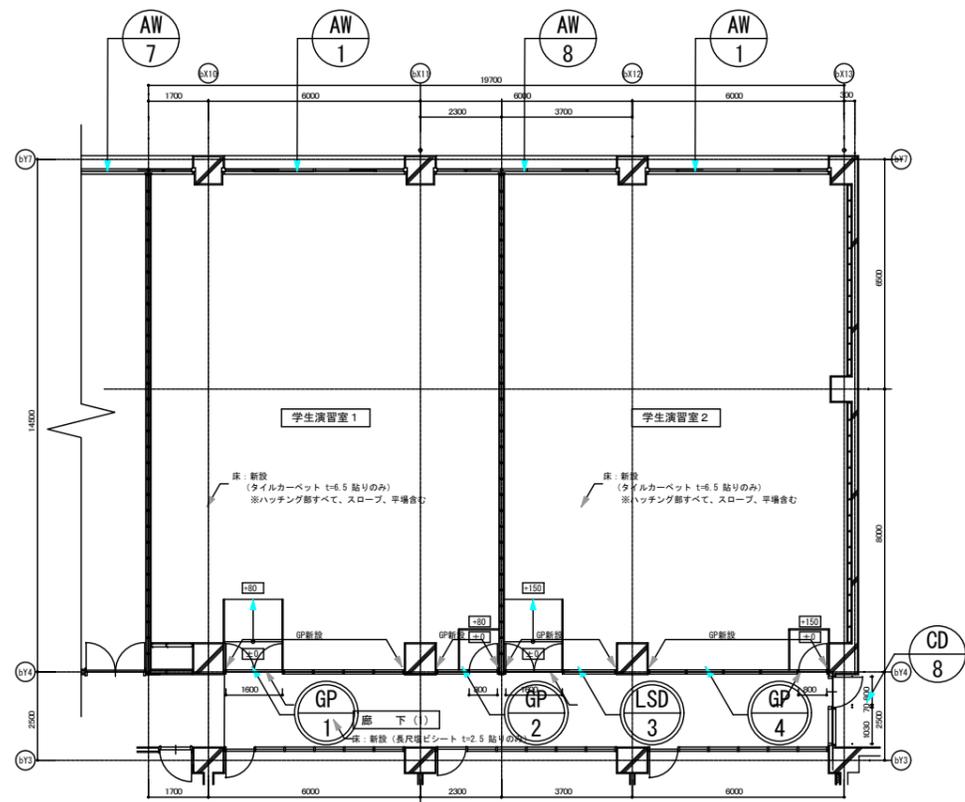
種別  
番号 撤去を示す

# 撤去



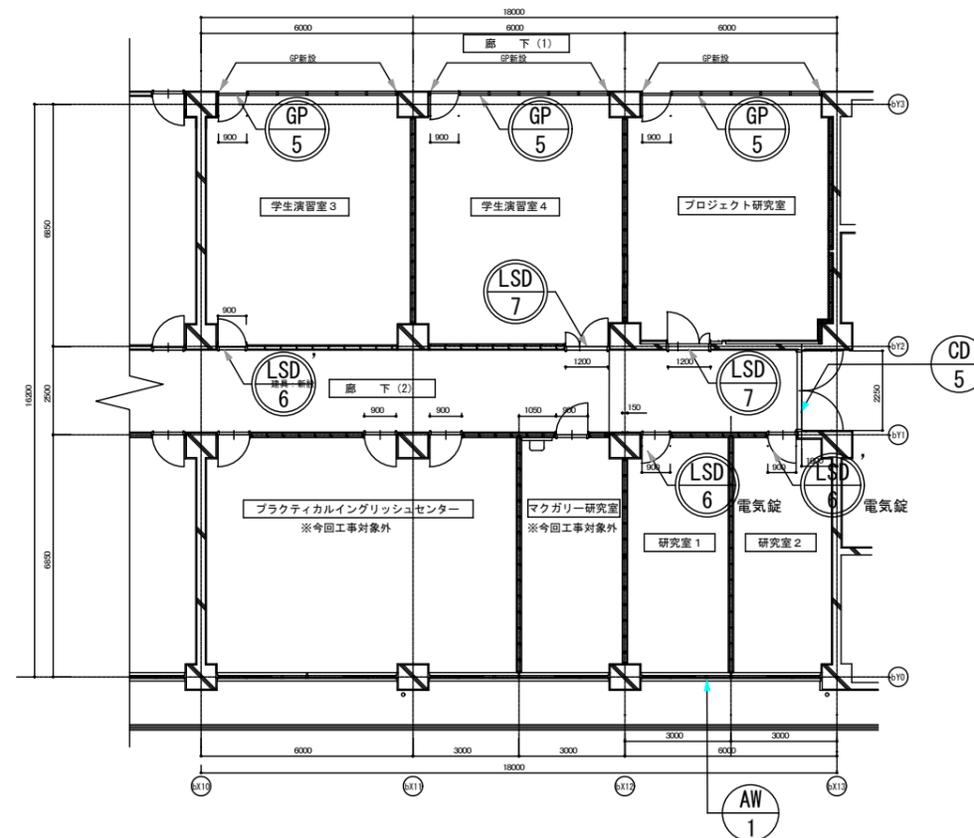
種別  
番号 撤去を示す

# 改修



種別  
番号 新設を示す

# 改修



種別  
番号 新設を示す

## (参考) R6年度改修内容

横浜市立大学		工事名	横浜市立大学総合研究教育棟改修工事
年月日	令和6年3月	縮尺	A3 : 1/200
図面名称	建具表キープラン <撤去><改修>		
設計者	CEN A		
図面番号	A-39		

記号・位置・数量	AW 1	L.L実習室(1)(2)、L.L事務室	3	AW 7	L.L実習室(1)	1	AW 8	L.L実習室(1)(2)	1	D 3	L.L実習室(1)(2)、L.L事務室 L.Lテーブルラライ	4		
形状・寸法 (内観を示す)														
改修内容	撤去	そのまま			そのまま			そのまま			撤去(枠とも)			
	改修・新設	-			-			-			-			
種別・方式	片引き・嵌め殺し窓			片引き・嵌め殺し窓			片引き・嵌め殺し窓			両開きベニヤフラッシュドア				
仕上・見込	アルミ	100 mm		アルミ	100 mm		アルミ	100 mm		O.P.	70 mm			
硝子	網入り透明ガラス t6.8			網入り透明ガラス t6.8			網入り透明ガラス t6.8							
金物	付属金物一式			付属金物一式			付属金物一式			付属金物一式				
備考														
記号・位置・数量	D 8	D 8	L.Lテーブルラライ	2	D 10	L.L実習室(1)(2)、L.L事務室	3	SD 19	SD 19	L.L編集室、録音室	SD19x3 SD19'x1	CD 5	L.L事務室	1
形状・寸法 (内観を示す)														
改修内容	撤去	撤去(枠とも)			撤去(枠とも)			撤去(枠とも)			そのまま			
	改修・新設	-			-			-			-			
種別・方式	親子開きベニヤフラッシュドア (D8'は気密ドア)			片開きベニヤフラッシュドア			片開きスチールフラッシュドア (気密ドア)、はめ殺し窓			両開きコールテン鋼サッシドア				
仕上・見込	O.P. (D8'はスチール)	70 mm		O.P.	70 mm		スチール	150 mm		コールテン鋼	100 mm			
硝子										網入り透明ガラス t10				
金物	付属金物一式			付属金物一式			丁番、ドアチェック、レバーハンドル、付属金物一式			フロアヒンジ、引手、シリンダー本締錠、付属金物一式				
備考														

(参考) R6年度改修内容

記号・位置・数量	CD 8	廊下(1)	1	GP 1	学生演習室1	1	GP 2	学生演習室1	1	GP 3	学生演習室2	1
形状・寸法 (内観を示す)	▽FL											
改修内容	撤去	そのまま		-		-		-				
	改修・新設	-		新設		新設		新設				
種別・方式	片開きコールテン鋼サッシドア		FIXガラスアルミパーティション、垂鉛めっき鋼板両開きフラッシュ遮音ドア		FIXガラスアルミパーティション、垂鉛めっき鋼板両開きフラッシュ遮音ドア		FIXガラスアルミパーティション、垂鉛めっき鋼板両開きフラッシュ遮音ドア					
仕上・見込	コールテン鋼	100 mm	垂鉛めっき鋼板(樹脂焼付塗装仕上げ)		100 mm	同左	同左	同左				
硝子	網入り透明ガラス t10		透明合わせガラス t5+5 (FLから+200までカットシート貼り)		同左		同左					
金物	フロアヒンジ、引手、シリンダー本締錠、付属金物一式		ドアハンドル、マスターキー対応U9錠、付属金物一式		同左		同左					
備考			扉にスリット窓(フロートt5+飛散防止フィルム)付き		同左		同左					
記号・位置・数量	GP 4	学生演習室2	1	GP 5	学生演習室3、4 プロジェクト研究室	3	LSD 6 LSD 6	学生演習室3 プロジェクト研究室	3	LSD 7	学生演習室4 プロジェクト研究室	2
形状・寸法 (内観を示す)	▽FL											
改修内容	撤去	-		-		-		-				
	改修・新設	新設		新設		新設		新設				
種別・方式	FIXガラスアルミパーティション、垂鉛めっき鋼板両開きフラッシュ遮音ドア		FIXガラスアルミパーティション、垂鉛めっき鋼板片開きフラッシュドア		FIX窓付き軽量スチール片開きフラッシュドア		軽量スチール親子扉開きフラッシュドア					
仕上・見込	垂鉛めっき鋼板(樹脂焼付塗装仕上げ)	100 mm	同左	同左	軽量スチール(カラー鋼板)	120 mm	同左	同左				
硝子	透明合わせガラス t5+5 (FLから+200までカットシート貼り)		透明合わせガラス t5+5		強化ガラス t5		同左					
金物	ドアハンドル、マスターキー対応U9錠、付属金物一式		同左		ドアハンドル、マスターキー対応U9錠、付属金物一式 研究室1,2:レバーハンドル電気錠(外シリンダー・内サムターン)		同左					
備考	扉にスリット窓(フロートt5+飛散防止フィルム)付き		同左		扉にスリット窓付きとする 付属金物一式曇りフィルム貼り(研究室1,2のみ)		同左					

(参考) R6年度改修内容

横浜市立大学		工事名	横浜市立大学総合研究教育棟改修工事
年月日	令和6年3月	縮尺	A3:1/100
図面名称		建具表(2) <撤去><改修>	
設計者		図面番号	
CENA		A-41	

# 文科系研究棟

外 部 仕 上																
名 称		材 料 ・ 仕 上			名 称		材 料 ・ 仕 上			名 称		材 料 ・ 仕 上				
屋 根	高層棟屋上	改修前	アスファルト防水、コンクリート金ごて押さえ			笠 木	改修前	PC製			バルコニー床	改修前	クロロレン系塗膜防水			
		改修後	ウレタン塗膜防水 平場：X-1、立上り：X-2				改修後	取合いシール打換えのうえ、外壁仕上に合わせ塗材仕上げとする。				改修後	クロロレン系塗膜防水（耐震補強取合い部：新規、その他：オーバーラップ） フロアドレイン：清掃後タールエポキシ樹脂塗り、壁樋（鋼管）：塗装改修 SOP塗装			
	高層棟PH	改修前	E.V.機械室屋根：アスファルト露出防水 高層水構置場：アスファルト防水、コンクリート金ごて押さえ			外 壁	高層棟基礎	改修前	壁：コンクリート化粧打放しCP、柱・梁型：コンクリート化粧打放しハツリ仕上CP			バルコニー軒天	改修前	A2アルミエクスパンダメタル（デュラクロン焼付）		
		改修後	E.V.機械室屋根：ウレタン塗膜防水 X-2 高層水構置場：ウレタン塗膜防水 平場：X-2、立上り：X-2					改修後	既存 化粧打放しハツリ仕上：下地調整のうえシリコン系クリヤー仕上 既存 化粧打放し仕上、高層棟PH：下地調整のうえ防水形複層塗材仕上				改修後	取外し再取り付け、開口閉塞部は寸法調整加工（塗装改修：ふっ素樹脂塗装）、新規空調配管用開口（設備）		
	低層棟屋根	改修前	アスファルト防水、コンクリート金ごて押さえ			高層棟上層	高層棟上層	改修前	コンクリート化粧打放し、CP			バルコニー梁型	改修前	コンクリート打放し		
		改修後	ウレタン塗膜防水 平場：X-1、立上り：X-2					改修後	下地調整のうえ防水形複層塗材仕上				改修後	1、2階：下地調整のうえ シリコン系クリヤー仕上、3～6階：下地調整のうえ防水形複層塗材仕上		
	低層棟 トプライト屋根	改修前	アスファルト露出防水			低層棟	低層棟	改修前	コンクリート化粧打放しハツリ仕上CP			バルコニーPS壁パネル	改修前	A1.6スチールプレート SOP		
		改修後	ウレタン塗膜防水 X-2					改修後	壁：下地調整のうえシリコン系クリヤー仕上				改修後	既存品塗装改修 ふっ素樹脂塗装、取合いシール打換え		
	低層棟 トプライト他	改修前	セメント防水			下地調整	下地調整	ハツリ仕上 1)水洗（高圧ポンプ水洗い） → 2)躯体補修			高層棟外部階段	段裏：アクリルシリコン樹脂系塗材 ササラ部分：下地調整のうえ防水形複層塗材仕上、階段手摺：塗装改修 ふっ素樹脂塗装				
		改修後	ウレタン塗膜防水 X-2					上記箇所以外 1)水洗（高圧ポンプ水洗い） → 2)躯体補修 → 4)カチオン系シーラー				低層棟屋非常口外部階段	段裏、ササラ部分：下地調整のうえ シリコン系クリヤー 塗装、階段手摺：塗装改修 ふっ素樹脂塗装			
非常口屋根	改修前	セメント防水			備 考	備 考	ふっ素系クリヤー仕上：エスケー化研/セラミクリート Si（改修部：TR-F）工法同等			PH他タラップ	塗装改修 ふっ素樹脂塗装					
	改修後	ウレタン塗膜防水 X-2					防水形複層塗材：エスケー化研ナレフランド（上塗り材：水性弾性ポリシリコン）同等ローラー塗り、 既存：ケミトップ				避難器具設置	高層棟バルコニー2～4階X1～X5間に5箇所設置（A-4.1図参照）				
ムフドレイン	改修前	改修用ドレインに取り替え			幅 木	幅 木	改修前	コンクリート化粧打放し、CP				屋上壁樋	高層・低層棟屋上壁樋（鋼管）撤去のうえ、φ75硬質ポリ塩化ビニル管に取り替え。			
	改修後	改修用ドレインに取り替え					改修後	南北面柱型：下地処理のうえ シリコン系クリヤー仕上、その他：下地処理のうえ防水形複層塗材								

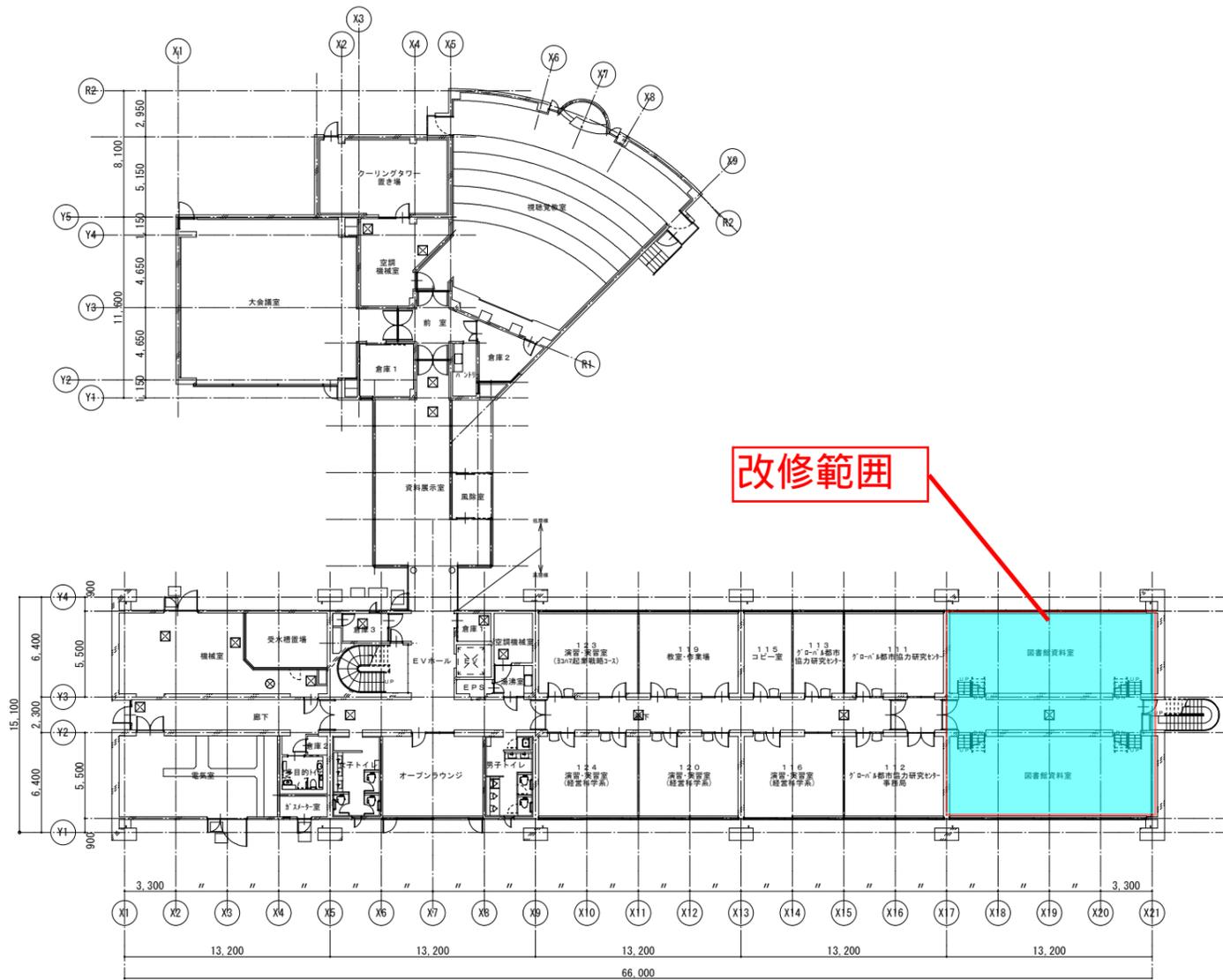
*特記事項																																																			
1・床下地調整要領（ビニル床シート下地） ①ケレン掛清掃 → ②プライマー塗布 → ③樹脂モルタル全面塗布（0.5mm程度） → → ④コテむら・突起物除去 → ⑤清掃																																																			
2・ビニルクロス張り下地が既存の場合は、シーラー処理を施す。																																																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">塗装記号凡例</th> <th colspan="2">シーリング種類（公共建築工事標準仕様書による）</th> <th colspan="2">凡 例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>SOP</td> <td>合成樹脂調合ペイント</td> <td>コンクリート打継目地</td> <td>PU-2</td> <td>R C</td> <td> 普通コンクリート</td> </tr> <tr> <td>EP-G</td> <td>つや有合成樹脂エマルジョンペイント</td> <td>防水押え部分</td> <td>PS-2</td> <td>R C</td> <td> 軽量コンクリート</td> </tr> <tr> <td>EP</td> <td>合成樹脂エマルジョンペイント</td> <td>金物取合部</td> <td>MS-2、SR-2</td> <td>LGS</td> <td> 軽量鉄骨製壁下地</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>ガラス押え</td> <td>SR-2</td> <td>C B</td> <td> コンクリートブロック</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>W</td> <td> 木製軸組</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>GB-R</td> <td>せつこうボード</td> </tr> </tbody> </table>										塗装記号凡例		シーリング種類（公共建築工事標準仕様書による）		凡 例		SOP	合成樹脂調合ペイント	コンクリート打継目地	PU-2	R C	普通コンクリート	EP-G	つや有合成樹脂エマルジョンペイント	防水押え部分	PS-2	R C	軽量コンクリート	EP	合成樹脂エマルジョンペイント	金物取合部	MS-2、SR-2	LGS	軽量鉄骨製壁下地			ガラス押え	SR-2	C B	コンクリートブロック					W	木製軸組					GB-R	せつこうボード
塗装記号凡例		シーリング種類（公共建築工事標準仕様書による）		凡 例																																															
SOP	合成樹脂調合ペイント	コンクリート打継目地	PU-2	R C	普通コンクリート																																														
EP-G	つや有合成樹脂エマルジョンペイント	防水押え部分	PS-2	R C	軽量コンクリート																																														
EP	合成樹脂エマルジョンペイント	金物取合部	MS-2、SR-2	LGS	軽量鉄骨製壁下地																																														
		ガラス押え	SR-2	C B	コンクリートブロック																																														
				W	木製軸組																																														
				GB-R	せつこうボード																																														

内 部 仕 上										
※改修後 A12ロックウール化粧吸音板張り：A9.5GB-R捨て張りとする										
階	室 名		床	幅 木	H	壁	天 井	天井高	室 名	備 考
低層棟 1階	風除室	既存のまま	ゴムタイル（コイン柄）			ガラススクリーン	A10石綿セメント珪酸カルシウム板 VE	2.350	風除室	
	資料展示室	改 修 前	ゴムタイル（コイン柄）	プラスチック幅木	60	モルタル金ごてセラベック	A12岩綿吸音板（A9PB下地）	2.350	資料展示室	
		改 修 後	一部張替え ビニル床シート（コイン柄）	一部張替え ビニル幅木	60	既存のまま	A12ロックウール化粧吸音板張り	2.350		
	視聴覚室	改 修 前	クッションフロアシート	スチール入幅木	60	鋼板パネル焼付塗装	岩綿吹付エンボス仕上（梁型：コクリト打放し仕様） トプライト：A12岩綿吸音板（A9PB下地）		視聴覚室	
		改 修 後	既存のまま	既存のまま		既存のまま	トプライト：全面張替え A12ロックウール化粧吸音板張り			トプライト部=鉄骨ブレース補強有り
	大会議室	既存のまま	カーベット	コンクリート打放し		鋼板パネル及び吸音パネル	岩綿吹付エンボス仕上（梁型：コクリト打放し仕様） 一部、A8石綿セメント珪酸カルシウム板 VE		大会議室	
	前 室	既存のまま	ゴムタイル（コイン柄）	プラスチック幅木	60	モルタル金ごてセラベック	A12岩綿吸音板（A9PB下地）	2.600	前室	天井点検口600角×3 新設
パントリー、倉庫1・2	既存のまま	ビニールアスベストタイル	パントリー：ソフト幅木 倉庫：モルタル金ごて	60 150	パントリー：モルタル金ごてビニルクロス張り 倉庫：コンクリート打放し	パントリー：A8石綿セメント珪酸カルシウム板 EP コンクリート打放し	2.600	パントリー、倉庫1・2	天井点検口600角×2 新設	
空調機械室	既存のまま	モルタル金ごて防塵塗装	目地切	目地切	ロックウール板、ガラスクロス・ポタン押え	ロックウールガラスクロス、ポタン押え		空調機械室		
	改 修 後	既存のまま	既存のまま		一部 吸音材張替え	一部 吸音材張替え				
高層棟 1階	図書館資料室	改 修 前	ビニールアスベストタイル 通路部：クッションフロアシート	ソフト幅木	60	モルタル金ごて EP	コンクリート打放し EP（梁型：同仕上） 通路部：A12岩綿吸音板（A9PB下地）		図書館資料室	
		改 修 後	既存のまま（アスベスト撤去跡部分補修） ※アスベスト撤去跡部分補修：ビニル床シート	既存のまま	60	既存のまま	通路部のみ全面張替え A12ロックウール化粧吸音板張り			
	111、112、113、115、119 120、124	改 修 前	クッションフロアシート	ソフト幅木	60	モルタル金ごてビニルクロス張り	A12岩綿吸音板（A9PB下地）	2.600	111、112、113、115、 119、120、124	
		改 修 後	一部張替え ビニル床シート	一部張替え ビニル幅木	60	一部張替え ビニルクロス張り	A12ロックウール化粧吸音板張り	2.600		
	116、123	改 修 前	クッションフロアシート	ソフト幅木	60	モルタル金ごてビニルクロス張り	A12岩綿吸音板（A9PB下地）	2.600	116、123	
		改 修 後	一部張替え ビニル床シート	一部張替え ビニル幅木	60	一部張替え ビニルクロス張り	全面張替え A12ロックウール化粧吸音板張り	2.600		
	オープンラウンジ → 前 室（改修後 室名）	改 修 前	クッションフロアシート	ソフト幅木	60	モルタル金ごて EP、一部A12.5GB-R張り EP	A12岩綿吸音板（A9PB下地）	2.600	オープンラウンジ 前 室（改修後 室名）	ブラインドボックス・ブラインド撤去
		改 修 後	ビニル床シート（ドット柄）	ビニル幅木	60	モルタル金ごて（既存） EP 一部GB-R（既存） EP、一部A9.5GB-R+A12.5GB-R EP	全面張替え A12ロックウール化粧吸音板張り	2.600		自販機用一次側電源（電気）
	→ 風除室（改修後 室名）	改 修 前	クッションフロアシート	ソフト幅木	60	モルタル金ごて（既存） EP-G 一部A9.5GB-R+A12.5GB-R EP-G	全面張替え A12岩綿吸音板（A9.5GB-R下地）	2.600	風除室（改修後 室名）	自販機用一次側電源（電気）
		改 修 後	ビニル床シート（ドット柄）	ビニル幅木	60	モルタル金ごて（既存） EP-G 一部A9.5GB-R+A12.5GB-R EP-G	全面張替え A12岩綿吸音板（A9.5GB-R下地）	2.600		
空調機械室、機械室 電気室	既存のまま	機械室：モルタル金ごて 防塵塗装 電気室：ビニールアスベストタイル	モルタル金ごて	150	機械室：電気室：コンクリート打放し 空調機械室：ロックウール板、ガラスクロス・ポタン押え	機械室、電気室：岩綿吹付エンボス仕上 空調機械室：ロックウール板、ガラスクロス・ポタン押え		空調機械室、機械室、 電気室	電気室天井部：排水管カバー既存一部撤去のうえ新設、	
倉庫1・2	既存のまま	ビニル床シート	倉庫1：ビニル幅木 倉庫2：コクリト打放し	60	倉庫1：コンクリート打放し EP-G 倉庫2：コンクリート打放し	倉庫1：A8石綿セメント珪酸カルシウム板 EP 倉庫2：コンクリート打放し	1=2.350	倉庫1・2	平成22年度改修済み	
倉庫3	既存のまま	ビニールアスベストタイル	ソフト幅木	60	モルタル金ごてビニルクロス張り	A12岩綿吸音板（A9PB下地）	2.350	倉庫3		
湯沸室 男子・女子・多目的トイレ	既存のまま	湯沸室：クッションフロアシート 各トイレ：ビニル床シート	湯沸室：ソフト幅木 各トイレ：ステンレス	60	湯沸室：モルタル金ごて VE 各トイレ：化粧パネル	湯沸室：A8石綿セメント珪酸カルシウム板 EP 各トイレ：A9ロックウール化粧吸音板（A9.5GB-R下地）	2.325 2.100～	湯沸室 男子・女子・多目的トイレ	男子・多目的トイレ前室：天井点検口600角×各1新設 各トイレ：平成22年度改修済み	
エレベーターホール、廊下	改 修 前	エレベーターホール：ゴムタイル（コイン柄） 廊下：クッションフロアシート	ソフト幅木	60	モルタル金ごて EP	A12岩綿吸音板（A9PB下地）	2.350 2.325	廊下、エレベーターホール	掲示板・総合案内板撤去	
	改 修 後	エレベーターホール：既存のまま 廊下：既存のまま	既存のまま	60	一部（案内板撤去部分）：モルタル金ごてEP 案内板取付け壁面：EP塗り替え、その他：既存のまま	全面張替え A12ロックウール化粧吸音板張り			館名サイン・掲示板新規取付け	
ガスメーター室	既存のまま	軽量コンクリートにて均し	モルタル金ごて	150	コンクリート打放し	コンクリート打放し		ガスメーター室		

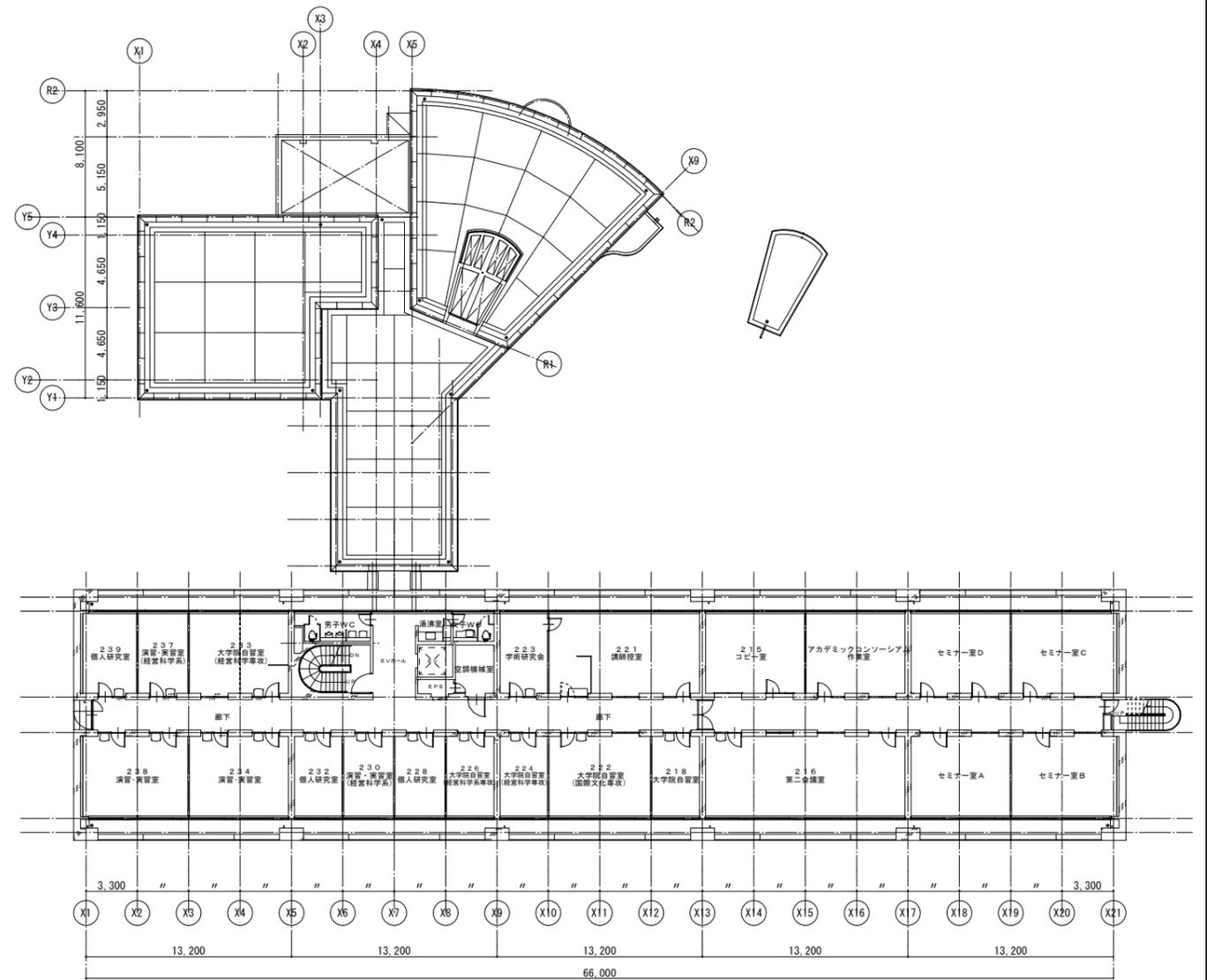
（参考）既存仕上げ表

横浜市建築局		工事名	横浜国立大学文科系研究棟 耐震補強その他工事（建築工事）	
年月日	H26.11	縮尺	NO. SCALE	
設 計 者		図面名称	仕上表 ①	
(株)金子設計		施設番号	棟番号	年度
(株)金子設計		図面枚数	図面番号	A-8

改修範囲



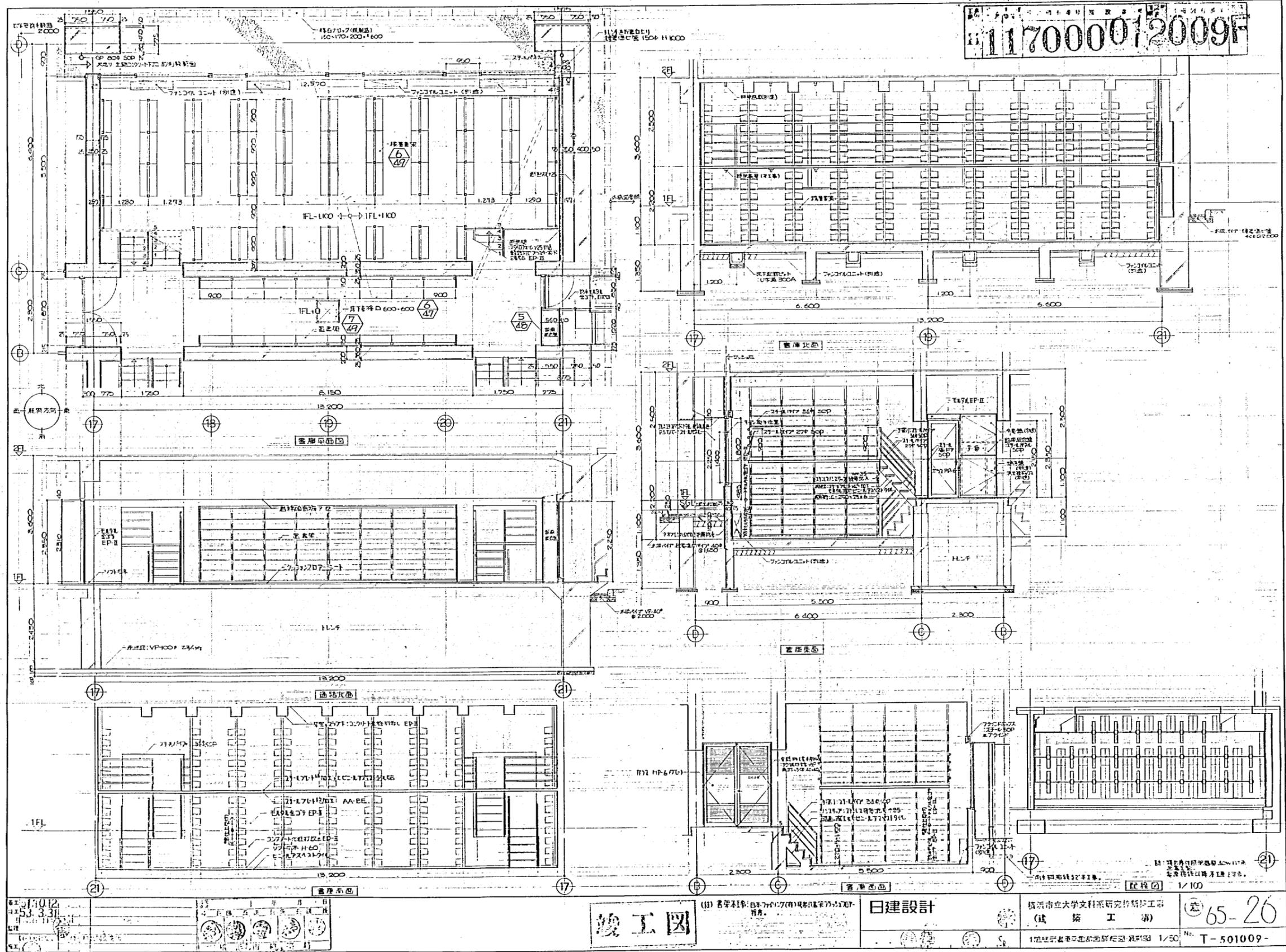
1階平面図 縮尺1/200



2階平面図 縮尺1/200

横浜市建築局		工事名	横浜市立大学文科系研究棟 耐震補強その他工事(建築工事)	
年月日	H26.11	縮尺	1/200	
図面名称	既存 1、2階平面図			
設計者	横浜市建築設計協同組合			
図面番号	A-11			

(株)金子設計



117000012009F

竣工図

日建設計

横浜市立大学文科系研究棟新築工事  
(建築工事)

55-26

1/50 No. T-501009-

(参考) 既存図面



